

ヒーツ熱交換器ユニット

取扱説明書

保証書付

東邦ガス型式名	型式名	号数
XTH-5825APS-AW	HNU-332FKD	33号
XTH-3425APS-AW	HNU-202FKD	20号

このたびはヒーツ熱交換器ユニットをお買い上げいただきましてありがとうございます。

ご使用になる前に必ずこの取扱説明書をよくお読みいただき、十分に理解したうえで正しくご使用ください。

この取扱説明書の裏表紙が保証書になっています。

内容をよくご確認ください。

この取扱説明書は、いつでもご覧になれる身近なところへ大切に保管してください。

取扱説明書を紛失された場合は、お買い上げの販売店、またはお近くの東邦ガスにご連絡ください。

その際、機器本体の銘板(→P.3)をご覧のうえ、品名・製造年月をお知らせください。



ご利用の前に	安全に正しくお使いいただくために	3
	この取扱説明書の表示について	3
	機器本体の表示について	3
	必ずお守りください	4
	各部の名称とはたらき	9
	機器本体	9
	浴室リモコン(別売品)	10
	台所リモコン(別売品)	11
	表示画面	12
	ご利用前の準備	13
機器の準備	13	
現在時刻を合わせる	14	
使い方	お湯を使うには	15
	お湯を使用する	15
	優先を切り替える	18
	お風呂を沸かす《ふろ自動運転》	19
	お風呂を沸かす	19
	お風呂を沸かし直す	20
	お風呂を沸かす《予約運転》	21
	予約でお風呂を沸かす	21
	ふろ温度・ふろ水位・保温時間を変更するには	23
	お風呂沸かしの設定を変更する	23
	お風呂のお湯を熱くする	25
	追いだきをする	25
	お風呂のお湯をふやす	26
	たし湯をする	26
	お風呂のお湯をぬるくする	27
たし水をする	27	
暖房運転をするには	暖房運転をするには	28
	暖房端末機器を運転する(暖房端末機器で行う)	28
	暖房時の運転音を小さくする	28
キッチンタイマー	キッチンタイマー	29
	キッチンタイマーを使う	29
必要なとき／困ったとき	設定の変更をする	30
	音量を変更する	30
	省電力の設定を変更する	31
	ふろ待機設定について	32
	知っていると便利な機能	33
	自動配管クリーンをする	33
	自動配管クリーンの設定を変更する	34
	冬期の凍結予防をするには	35
	不凍液による方法	36
	凍結してしまったとき	36
	点検のポイント・お手入れのしかた	37
	点検のポイント(月1回程度)	37
	お手入れのしかた(月1回程度)	37
	循環口フィルターの掃除(こまめに掃除)	37
	給水口フィルターの掃除	38
	点検・お手入れ後の確認	38
	定期点検のおすすめ(有料)	38
	故障かな?と思ったら	39
アラーム表示について(リモコンに表示されます)	41	
設定したふろ水位にならないときは	42	
アフターサービスについて	43	
仕様一覧	44	
保証書	46	

安全に正しくお使いいただくために

安全に正しくお使いいただくために

■この取扱説明書の表示について

製品を正しくお使いいただくためや、お使いになる方や他の方への危害・財産への損害を未然に防止するため、以下のような表示で注意を呼びかけています。



この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。



この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が軽傷を負う可能性や物的損害の発生が想定される内容を示しています。

お願い

安全・快適に使用していただくために、よく理解していただきたい内容を示しています。

(→P.XX)

参照ページを示しています。



給湯温度 40℃です

リモコンから流れる音声を示しています。(音声は例です)

■機器本体の表示について

①使用上の注意

使用上の注意について表示しています。

②銘板

東邦ガス型式名・型式名・製造年月・製造事業者などを表示しています。



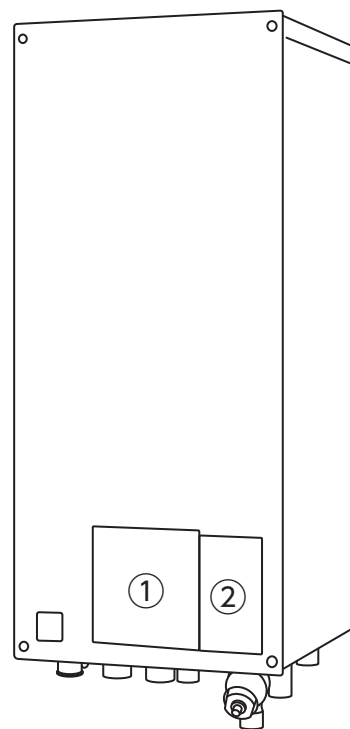
東邦ガス
型式名

型式名

製造事業者

製造年月

例) 26・04→2026年4月の製造



必ずお守りください

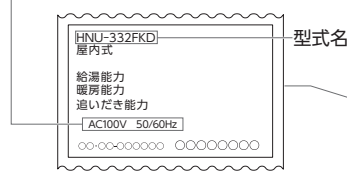
安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記しています。この内容は必ずお読みください。

警告

機器の銘板を確認

- 機器の銘板に表示してある電源(電圧・周波数)で機器を使用する。電源が一致しないと機器が故障する場合があります。
- 転居・移設時には**転居または機器を移設される場合**(→P.43)を確認する。

●この機器はAC100V 50/60Hz共用です。この部分を必ずご確認ください。



必ず行う

屋外設置の禁止

- この機器は屋内設置形なので屋外に設置しない。雨水の浸入などで故障の原因になります。



禁止

機器設置および付帯工事

- 機器の設置・移動および付帯工事は、お買い上げの販売店、またはお近くの東邦ガスに依頼し、安全な位置に正しく設置する。設置工事に不備があると事故の原因になります。



必ず行う

機器本体や配管の接続部などに無理な力を加えない

- 機器本体や配管の接続部などに乗ったりして、無理な力を加えない。けがや機器の変形による故障のおそれがあります。



禁止

改造・分解禁止

- 絶対に改造・分解は行わない。改造・分解は思わぬ事故や故障・火災の原因になります。



分解禁止

火災予防のために必ず守ること

- 機器の周辺では灯油・ガソリン・ベンジンなど引火性危険物を使用しない。火災の原因になります。
- 機器の周辺や上にスプレー缶、カセットコンロ用ボンベを置いたり、使用したりしない。熱で缶・ボンベの圧力が上がり爆発のおそれがあります。



禁止

給湯・シャワー使用时、入浴時の注意

- シャワーなどお湯を使う場合は、リモコンの表示温度をよく確かめ、手のひらで温度を確認して湯温が安定してから使用する。次のようなときは注意してください。
 - ・お湯を再使用するとき
 - ・給水温度が高いとき
 - ・給水圧が下がったとき
 - ・お湯の量を急に少なくしたとき
 - ・機器が故障したとき
- 入浴するときは、手で湯の温度を確認する。



必ず行う



- シャワー・給湯使用中に、使用者以外がリモコンの温度を変更したり、**運転ボタン**を「切」にしたり、「優先」を切り替えたりしない。
 - 使い始めは正常でも、使用中に熱くなるときがあるため、熱いお湯が出た場合はすぐに使用を中止する。このような状態が続く場合は機器の故障の可能性がありますので、お買い上げの販売店、またはお近くの東邦ガスにご連絡ください。
 - 給湯使用時は出湯管(蛇口)に触らない。
 - お風呂沸かし(沸かし直し)や追いだき時には、循環口付近は熱くなることがあるので触らない。
 - 浴槽のふたの上に乗ったり、手をついたりしない。
- 怠ると思わぬ事故や、やけどのおそれがあります。



禁止



高温注意

異常時の処置について

- 地震・火災などの緊急時の場合は、以下の手順に従う。
 - ①給湯栓を閉める。
 - ②リモコンの**運転**ボタンを「切」にする。
 - ③給湯元栓・熱媒元栓を閉める。



必ず行う

- 使用中に臭気・異常音・異常な温度を感じた場合は、以下の手順に従う。
 - ①ただちに使用を中止する。
 - ②お買い上げの販売店、またはお近くの東邦ガスに連絡する。



必ず行う



必ずお守りください

必ずお守りください

警告

アース必要

- この機器は接地工事(アース)が必要なため、アースがされているか確認する。アースがされていない場合は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。



ぬれた手で分電盤のブレーカーを触らない

- ぬれた手で分電盤のブレーカーを触らない。感電のおそれがあります。



ソーラー機器接続禁止

- ソーラー機器(太陽熱温水器)とは絶対に接続しない。夏期にソーラーの水温が高くなるとお湯の温度制御ができなくなり、高温のお湯がそのまま出ます。やけどをしたり機器が故障する原因になったりします。



外付け装置による遠隔操作厳禁

- スマートフォン、IT機器を使ってリモコンの各ボタンを操作する外付け装置*は、安全性を確認できないため使用しない。
※**運転**ボタンを含む操作ボタン付近に設置し、インターネット通信などを介して各ボタンを「入」/「切」できる装置。



注意

用途についての注意

- 一般家庭での台所・シャワー・洗面などへの給湯、おふる沸かし、暖房(乾燥)以外の用途には使用しない。思わぬ事故につながる可能性があります。



機器本体の高温部に触らない

- 熱媒配管に触らない。やけどのおそれがあります。



水漏れに気づいたときは

- 速やかに給水元栓・熱媒元栓・暖房元バルブを閉め、機器の使用を中止する。床や壁などをぬらして生じる損害は、お客様の責任となります。



リモコンの扱いについて

- 浴室リモコンは防水タイプであるが故意に水をかけない。台所リモコンは防水タイプではないため水をかけたり、炊飯器・電気ポットなどの蒸気を当てたりしない。故障の原因になります。



空だき防止について

- リモコンの**追いだき**ボタンを押すときは、必ず浴槽の循環口上部より5cm以上お湯(水)が入っていることを確かめる。水位が循環口より低いと、空だきによる機器の故障や浴槽の損傷などの原因になる場合があります。



お子様について

- 浴槽のお湯(水)に潜ったり、浴室で遊ばせたりしない。
- 子供だけで入浴させたり、お湯を使わせたりしない。
- 子供を機器の周囲や直下で遊ばせない。

思わぬ事故につながる可能性があります。

※特に小さなお子様のいるご家庭では注意してください。



オーバーフロー配管から排出される水について

- オーバーフロー配管から排出される水を飲料用・飼育用などに使用しない。



お願い

この機器は一般家庭用です

- 業務用のような使い方をされると機器の寿命を著しく縮めます。この場合の修理費は保証期間内でも有料になります。浴槽についても、一般家庭用サイズをご使用ください。

必ずお守りください

お願い

必ずお守りください

入浴時の注意

- 循環口フィルターを外して、お子様がオモチャなどを入れて遊ばないように注意してください。機器の故障の原因になります。
- 浴槽の循環口をタオルなどで塞がないでください。循環不良によりお風呂沸かしができなくなるなど、機器の故障の原因になります。

入浴剤や洗剤についての注意

- 入浴剤・ふろがま洗剤・洗剤などは、注意書きをよく読み、正しくご使用ください。
※すすぎが必要な洗剤は、十分なすすぎを行ってください。
- 強酸・強アルカリの洗剤や硫黄・酸・アルカリを含んだ入浴剤、および重曹・クエン酸・尿素など、機器に悪影響を及ぼす可能性のある薬品類は使用しないでください。機器の性能低下や、熱交換器・配管などが腐食したり異音を発生したりする原因になります。
- 乳白色(白濁)の入浴剤や、バスソルトなど塩分の強い入浴剤、葉草・ゆずなどの固形物(不溶物)を含む入浴剤はご使用をお控えください。熱交換器の異音や、循環口フィルターの詰まり、追いだき配管にたまるなどして動作不良を起こす原因になります。使用する場合は、ふろ自動運転の保温や追いだきをしないでください。

市販の補助用具について

- 事故防止のため、この機器専用の付属品・別売品以外は使用しないでください。
- 市販品の湯冷め防止器などは使用しないでください。

リモコンの扱いについて

- リモコンはお子様がいたずらしないよう注意してください。

分電盤のブレーカーを「切」にしない

- お手入れを行うとき、または突発的な自然災害(雷など)以外は、分電盤のブレーカーを「切」にしないでください。

飲用(調理用)にお使いのときは

- 機器内に長時間たまった水(たとえば朝一番の使い始めのぬるい湯)は、飲用(調理用)には使用しないで雑用水としてお使いください。

通水使用の禁止

- リモコンの**運転**ボタンを「切」にした状態で、給湯栓を開けて水を出したり、シャワーを浴びたりしないでください。機器内通水部分の結露により、機器の寿命を短くする原因になる場合があります。(冬期の凍結予防の場合を除く)

停電時または分電盤のブレーカーを「切」にしたとき

- この機器は、停電時や分電盤のブレーカーを「切」にしたときは使用できません。
- 停電時は給湯栓を閉めてください。
- 冬期で、寒波が予測される場合に停電したときは、**給湯栓から水を流す方法**(→P.35)に従って機器の凍結予防を行ってください。
- 復電後は、リモコンの現在時刻の設定を行い、給湯温度などの表示を確認してからご使用ください。
- 自動でお風呂を沸かしているときに停電になると、ふろ自動運転が停止します。復電後、**■お風呂を沸かし直す**(→P.20)の操作を行ってください。
- 復電後、自動でお風呂沸かしをするといつもとよりお湯はり時間が長くなる場合があります。

雷が発生しているときの注意

- 雷が鳴り始めたら速やかに使用を中止し、感電に注意して分電盤のブレーカーを「切」にしてください。雷による一時的な過電流で電子部品を損傷することがあります。



断水するとき

- 給湯栓を閉め、リモコンの**運転**ボタンを「切」にしてください。
- 断水から復帰後、使い始めのお湯は飲用や調理用などに使用しないでください。飲用や調理用に適さない水が、給水管内にとどまることがあります。

日常の点検・お手入れ

- 浴槽や洗面台が、水中の微量の銅イオンと脂肪分(湯あか)により青く着色することがあります。日々、浴室や洗面台のお手入れをするとともに、万一着色した場合はクレンザーやアンモニア水(10%程度)などで拭き取ってください。
- オーバーフロー配管の先からスムーズに排水されるか点検してください。ゴミなどで塞がれている場合は掃除を行ってください。

長期間機器を使用しない場合

- この機器は熱媒弁の固着を防止するため、24時間に1回、熱媒弁の開閉動作を行います。機器を使用していなくても熱媒使用料金が発生しますので、長期間機器を使用しない場合は熱媒元栓を閉めてください。

必ずお守りください

お願い

地下水や温泉水、井戸水では使用しない

- この機器は上水道用です。地下水・井戸水(簡易水道を含む)を使用すると、水質によっては機器内の配管内部に異物が付着したり短期間で銅管を腐食させたりするなど、耐久性を損なう場合や、機器が正しく作動しないことがあります。地下水・井戸水(簡易水道を含む)を使用する場合は施工前に十分水質※を確認してください。ただし、地下水・井戸水(簡易水道を含む)には様々な成分が溶け込んでいるため、機器に対する影響は正確に判断できませんので、保証期間内でも有料修理となります。
- ※飲料水の基準に適合していることを原則として、硬度60mg/L以下・pH7~8・遊離炭酸4mg/L以下が望ましい。
- 温泉水は使用しないでください。

設置する場所や状況について

お願い

設置場所について

- 設置場所をお決めになるときは近隣の家に運転音(ポンプ)で迷惑にならない場所に設置してください。(工事担当者にご相談ください)
- 足場などを組んだり、ハシゴ・脚立を使ったりしなければメンテナンスができない高所などに設置しないでください。メンテナンスをお断りすることがあります。
- 塀などを増設する場合は、機器の点検・修理のために空間を確保してください。機器の点検修理のための空間については、お買い上げの販売店、またはお近くの東邦ガスにお問い合わせください。

塩ビ管の使用について

- 給湯配管に塩ビ管を使わないでください。機器の使用直後に熱交換器の後沸きにより塩ビ管が破裂し、熱湯が噴き出すなど、多量の水漏れの原因になります。(ただし、オーバーフロー配管は除きます)

必ずお守りください

床暖房についての注意



警告

やけどに注意

- 床暖房の上で長時間、座ったり寝そべったりしない。低温やけどを起こすおそれがあります。特に次のような方が使用する場合は、周りの人が注意してあげることが必要です。
 - ・乳幼児・お年寄り・病人など自分の意思で体を動かさない方
 - ・疲労の激しいときやお酒・睡眠薬を飲まれた方
 - ・皮膚や皮膚感覚の弱い方



禁止

火災予防

- 床暖房の上にスプレー缶・カセットコンロ用ボンベ・ライターなどを置かない。熱でスプレー缶などの圧力が上がり、スプレー缶などが爆発するおそれがあります。



禁止



注意

床についての注意

床に水などをこぼさない

- 床面に水・薬品・しょうゆ・ペットの排泄物などがこぼれたら、速やかに拭き取ってください。常時水の飛び散る台所や洗面所周辺は、ぬれたまま長時間放置しないでください。床仕上げ材や床暖房パネルの変色・はがれ・劣化など、品質を損なう原因になります。



禁止

キャスター付きの椅子や家具、車椅子を使用しない

- フローリング表面の傷やへこみ・はがれ・床鳴りなどの原因になります。



禁止

重量物を移動させるときは引きずらない

- 床仕上げ材表面の傷やへこみ・はがれの原因になります。椅子の脚など床に接触する部分には、フェルトなどをつけてください。



禁止

床暖房の上に、鋭利なもの(釘・画びょう・きり・ダニ防虫剤の注射針・はさみなど)を落としたり刺したりしない

- 水漏れの原因になります。



禁止

床暖房の上にエアコンやテレビなどのリモコンを長時間置かない

- リモコンの故障の原因になります。



禁止

床暖房の上に、調度品・家具などを直接置かない

- 家具などに熱がこもって、ひずみなどが生じる原因になります。床面と家具などの間に空間を設けるようにし、熱がこもらないようにしてください。



禁止

床暖房は電気カーペットやこたつなどと併用しない敷物は敷かない

- 性能が発揮できなかつたり、熱がこもって床仕上げ材の割れ・そり・すき間・変形・変色などの原因になったりします。



禁止

重いものはそのまま置かない

- ピアノなど重量物にはパッドなどを敷いて1か所に荷重がかからないよう設置してください。床が破損し、水漏れの原因になります。



禁止

床暖房を他の目的に使用しない

- 特殊な用途(例えば衣類の乾燥や動物の飼育、植物の栽培、食品の保存など)には使わないでください。



禁止

床仕上げ材のお手入れは、床仕上げ材メーカーの取り扱い方法に従う 床仕上げ材の張替えは、床仕上げ材メーカーの指定工法で施工する

- 詳しくは床仕上げ材メーカーへお問い合わせください。



必ず行う

床下の防霉・防蟻処理時、床暖房や配管などに処理剤が付着しないよう注意する

- 床暖房が破損し、水漏れの原因になります。



必ず行う

閉め切った部屋で長時間使用しない

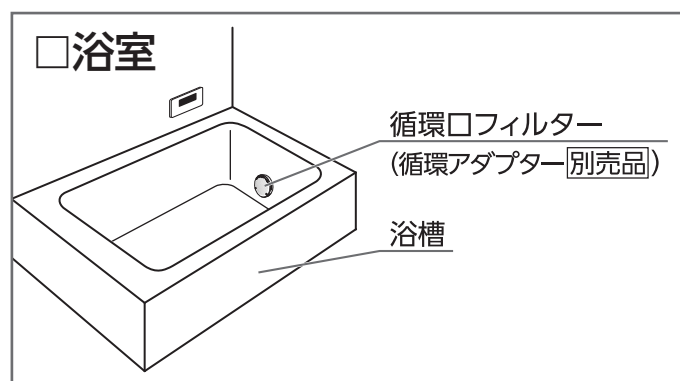
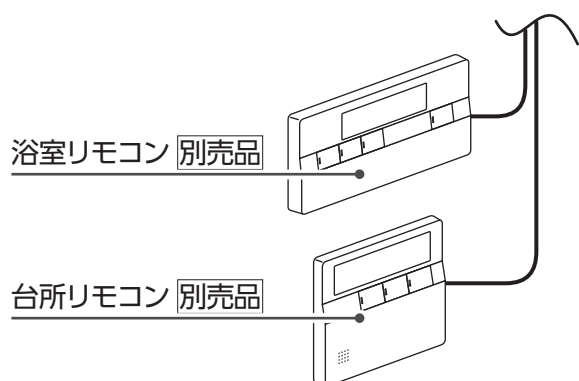
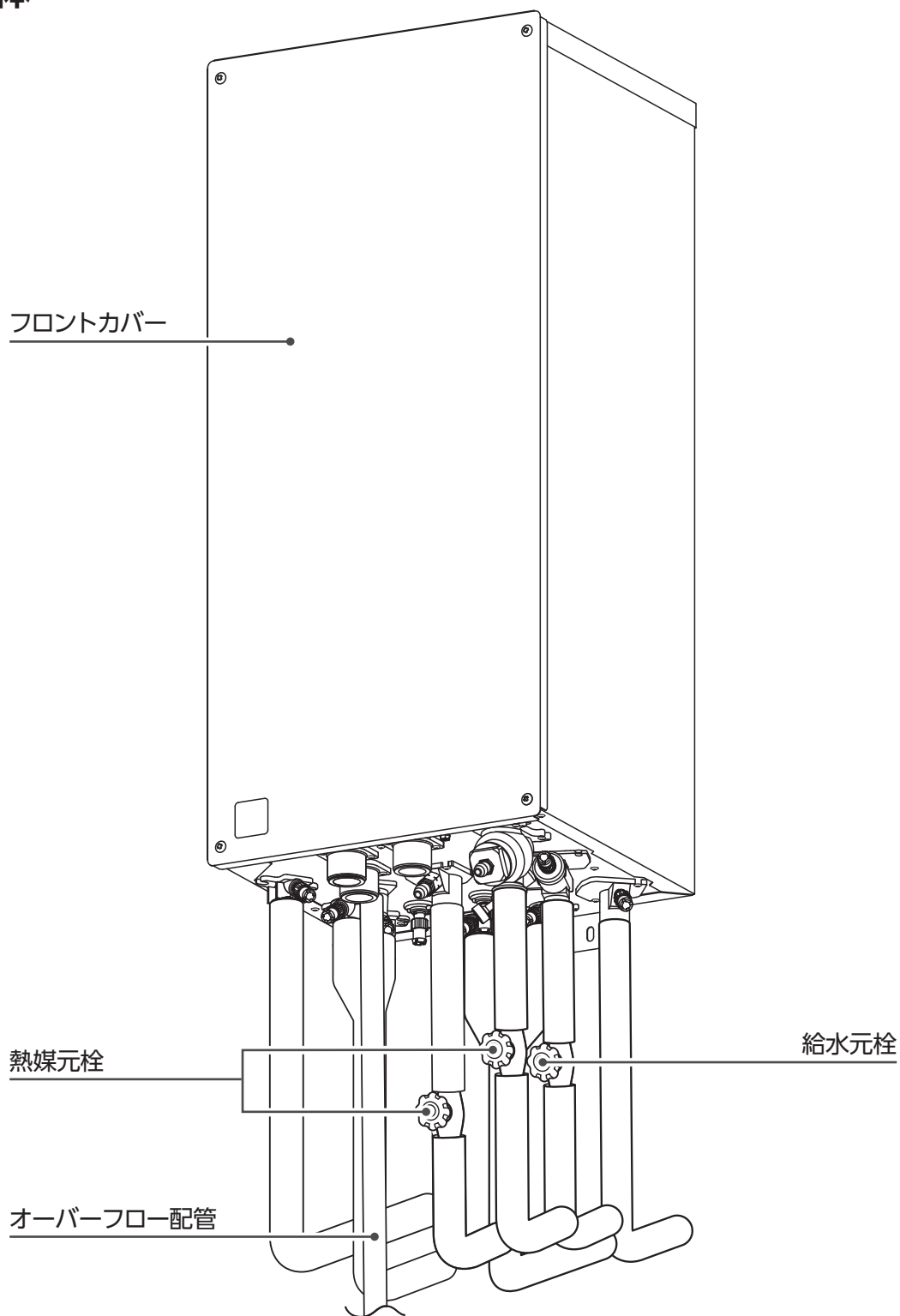
- 床暖房設置後しばらくの間や閉め切った部屋で長時間使用すると、ごくまれに体調が悪くなる場合があります。窓を開けるなどして定期的に換気をしてください。それでも改善されない場合は、お買い上げの販売店、またはお近くの東邦ガスにご相談ください。



必ず行う

各部の名称とはたらき

■機器本体



各部の名称とはたらき—機器本体

各部の名称とはたらき

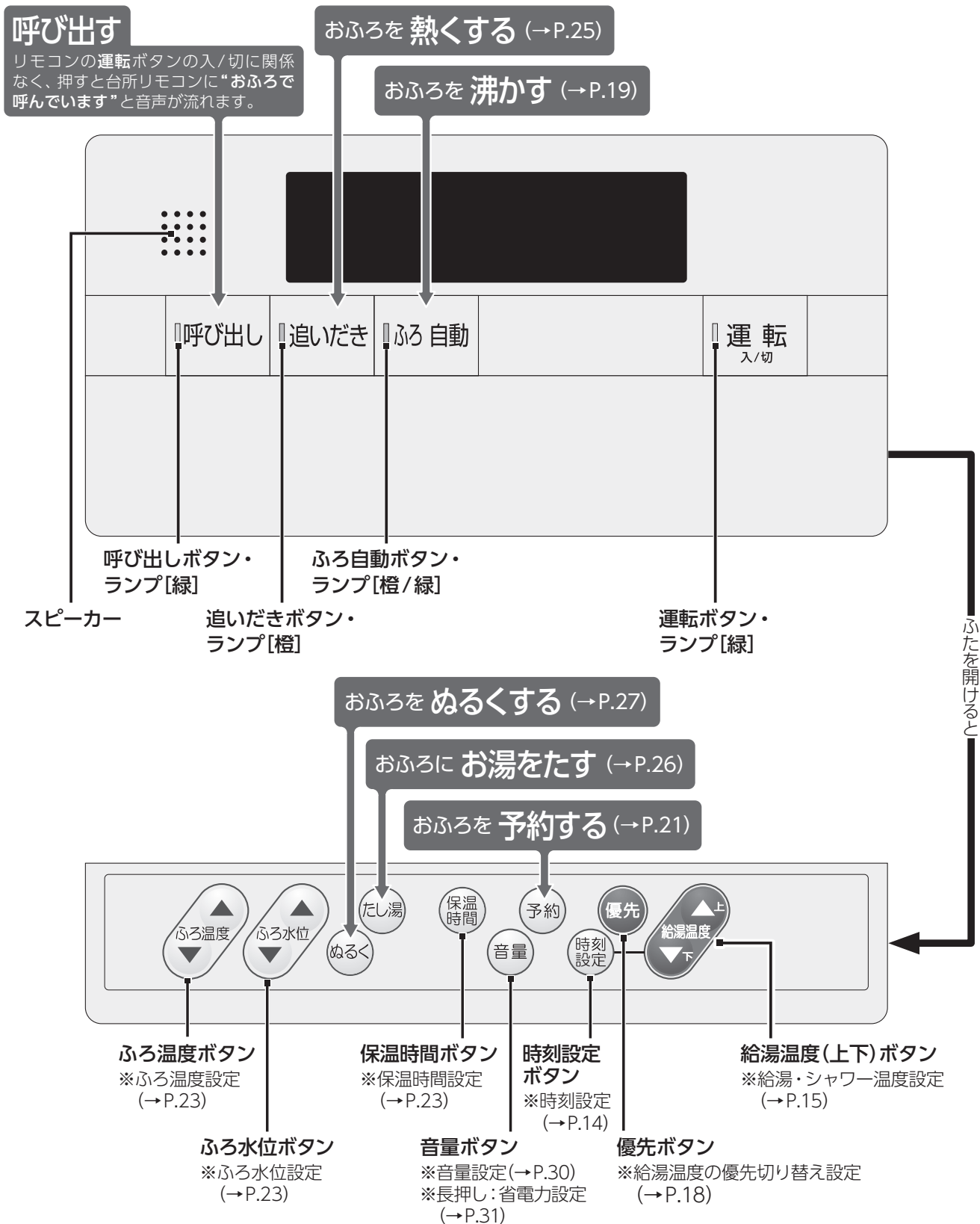
■浴室リモコン(別売品)

FC-700-HE

浴室に設置して使用します。

給湯温度の設定や給湯優先の切り替え、お風呂沸かしやお風呂沸かしに関する設定などの操作ができます。操作をするとき以外は、ふたを閉めてお使いください。

各部の名称とはたらき—浴室リモコン(別売品)



各部の名称とはたらき

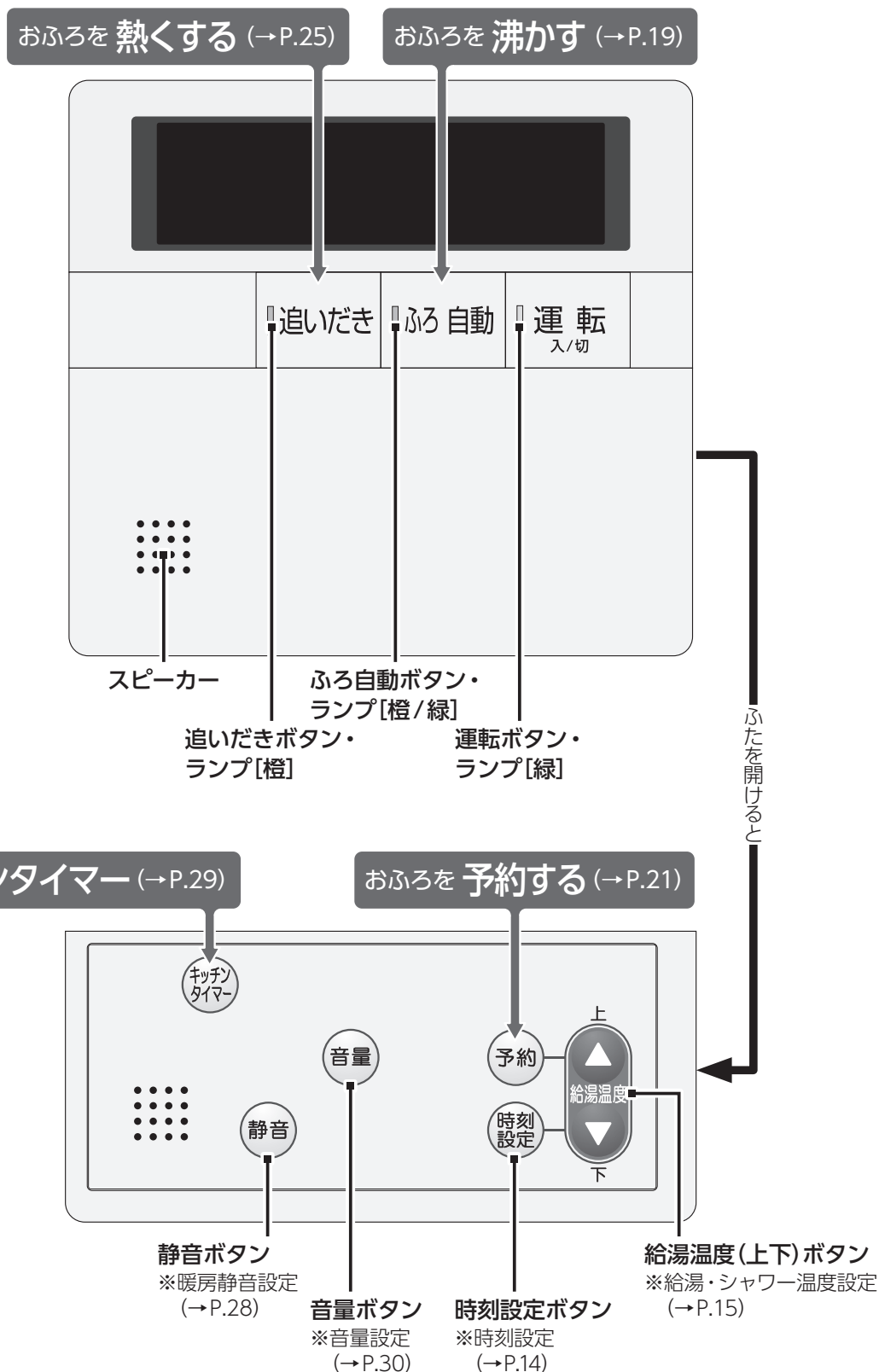
■台所リモコン(別売品)

MC-700-HE

台所に設置して使用します。

給湯温度の設定やふろ自動・追いだき・予約運転・暖房静音・キッチンタイマーなどの操作ができます。操作をするとき以外は、ふたを閉めてお使いください。

各部の名称とはたらき—台所リモコン(別売品)



各部の名称とはたらき

■表示画面

図のリモコンの画面表示は説明用で、実際の運転状態を示すものではありません。

[浴室リモコン]



トップ画面

運転ボタンを「入」にすると表示する画面です。ふろ温度・現在時刻・給湯温度などを表示します。



[台所リモコン]



トップ画面


運転ボタンを「入」にすると表示する画面です。現在時刻・給湯温度などを表示します。



1 風呂予約表示

風呂予約中に表示します。

2 風呂温度表示

お風呂のお湯の設定温度を表示します。凍結予防運転中には、 (凍結予防表示) を点滅で表示します。



3 保温表示

保温時間の設定時や保温中に表示します。

4 風呂水位表示

風呂水位を表示します

5 現在時刻表示

現在時刻を表示します。

アラーム表示

不具合時にはアラームを表示します。

6 給湯温度表示

給湯・シャワーの設定温度を表示します。

7 優先表示

この表示があるとき給湯温度の変更ができます。

8 加熱表示

水(お湯)の加熱中に表示します。

9 高温表示

給湯温度が50°C以上のとき表示します。

10 音量表示

音量の変更中に表示します。

11 省電力表示

省電力に設定されていると表示します。

12 クリーン表示


配管クリーン動作中に表示します。

13 風呂動作表示

追いだき・凍結予防運転時に表示します。

□ □ → □□ □ □ → □□□□ → 消灯 → □ □
風呂自動・たし湯・ぬるく・配管クリーン運転時に表示します。
□ → □□ → □□□ → 消灯 → □

14 凍結予防表示

凍結予防運転中、台所リモコンに を点滅で表示します。

15 静音表示

暖房静音に設定されていると表示します。

ご利用前の準備

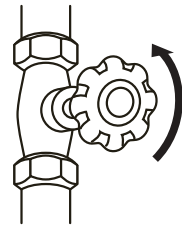
■機器の準備

はじめてお使いになるときは、まず機器の準備をします。

- 1** 機器や機器周辺の点検・確認を行う
■点検のポイント(→P.37)をご覧ください。

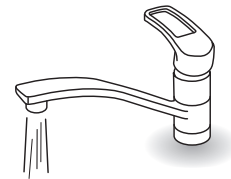
- 2** 暖房元バルブを全開にする
機器の周辺にあります。

- 3** 給水元栓を全開にする
機器の周辺にあります。(→P.9)

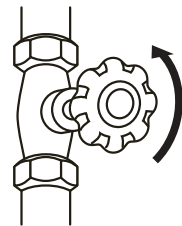


レバーをお湯側にして開ける

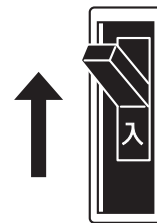
- 4** 給湯栓を開ける
水が出ることを確認したら閉めます。



- 5** 熱媒元栓を全開にする
機器の周辺にあります。(→P.9)



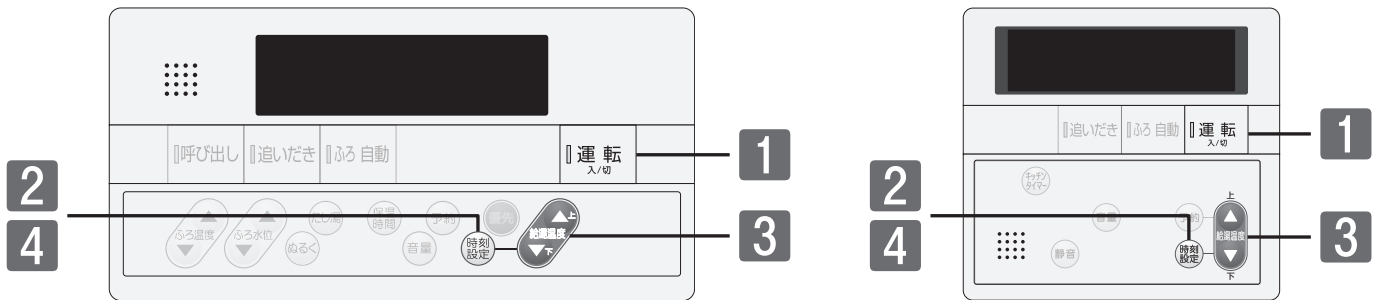
- 6** 分電盤のブレーカーを「入」にする



ご利用前の準備

■現在時刻を合わせる

現在時刻を合わせます。どちらかひとつのリモコンで操作します。



! 必ず行う
●現在時刻の設定がされていない場合は、ふる予約を利用できません。予約ボタンを押すと“ピピピッ”と、受け付け禁止音が鳴ります。必ず現在時刻を設定してください。

■機器の準備(→P.13)の6からあとの操作を説明します。

- 1** 運転 入/切 を「入」にする

現在時刻をセットしてください
- 2** ふたを開け 時刻設定 を押す

現在時刻です
上下ボタンで入力してください
- 3** 給湯温度 で時刻を合わせる

※上下ボタンは1回押すと1分単位、長押しすると10分→30分→1時間単位で進み(戻り)ます。

設定時にはAM(午前)/PM(午後)に注意してください。
▲は時刻が進みます。
▼は時刻が戻ります。
※時刻合わせは、表示が点滅している間に行ってください。
- 4** 時刻設定 を押す

セットされました

※時刻設定ボタンを押さなくても、約10秒押し操作がないと設定を完了します。

メモ

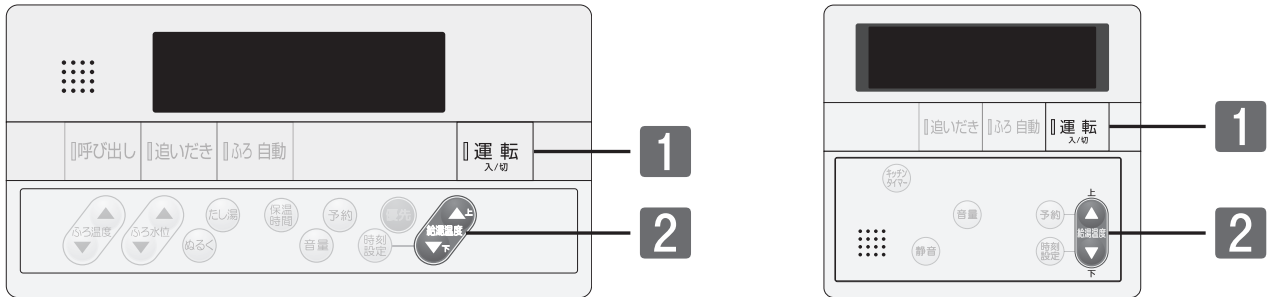
- 電源投入直後や停電からの復電後は、リモコンの画面上にが表示されます。表示が消えるまで、約40秒かかります。その間はリモコンの操作ができません。消えるまで待ってから運転ボタンを「入」にしてください。
- 工場出荷時の時刻表示は「--:--」になっています。停電などで通電が止まった場合も工場出荷時の表示に戻りますので、復電後に時刻の再設定をしてください。
- 現在時刻の設定がされていない場合には、運転ボタンを「入」にするたびに“現在時刻をセットしてください”と、音声ガイドが流れます。また、給湯温度を50℃以上に設定していた場合には“給湯温度○℃です 熱い温度にセットされました注意してください”と、音声ガイドが流れます。
- 設定時に上下ボタンを押さないまましばらくたつと時刻合わせを終了します。このとき音声ガイドは流れません。
- 現在時刻の設定終了後は、運転ボタンを「入」にするたびに給湯温度を音声ガイドでお知らせします。

ご利用前の準備 | 現在時刻を合わせる

お湯を使うには

■お湯を使用する

給湯栓を開けるとお湯が出ます。優先の表示があるリモコンでは、給湯温度をお好みの温度に変更できます。操作は、台所リモコンで説明します。



警告

- シャワー・給湯などを使うときは、リモコンに表示の給湯温度を確認し、手のひらで温度を確かめて湯温が安定してから使う。確認を怠るとやけどのおそれがあります。また、いつまでも湯温が安定しない場合は、機器の故障が考えられます。**故障かな?と思ったら(→P.39)をご確認ください。**
- シャワー・給湯使用中は使用者以外、温度の変更や優先の切り替え・**運転**ボタンを「切」にしない。突然の熱湯によるやけどや、冷水によって思わぬ事故につながる可能性があります。特にシャワー使用時は、**必ず浴室リモコンを優先(→P.18)にして、リモコンに表示の給湯温度を確認してから使用してください。**

1



を「入」にする



給湯温度、40°Cです

【給湯温度を変更する場合】

2

ふたを開け



で調節する



給湯温度、42°Cに
セットされました

- ※給湯温度ボタンは1回ずつ押してください。長押ししても温度は変わりません。
- ※給湯温度が変更できない場合は、□リモコンの給湯温度が変更できないときは(→P.17)をご覧ください。


- ▲は温度が上がります。
- ▼は温度が下がります。

お湯を出す

給湯栓を開ける

レバーをお湯側にして開ける




お湯を出している間は、すべてのリモコンにを表示します。

お湯を止める

給湯栓を閉める



お湯を止めると、すべてのリモコンからが消えます。

お湯を使うには

□給湯温度の目安

給湯温度の目安(単位:℃)

40:工場出荷時

32	35	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	48	50	55	60
食器洗いなど				シャワー・給湯など					給湯など				高温		

※50℃以上に設定した場合には、リモコン画面に**高温**を表示し、警告音声が流れます。



給湯温度、50℃です
熱い温度にセットされました
注意してください

お湯を使うには
— お湯を使用する

!お知らせ

- リモコンに表示の給湯温度と給湯栓から出る湯温は、配管の長さや気温などにより必ずしも一致しません。リモコンに表示の給湯温度は目安としてお考えください。
- 夏場など水温が高い場合、“食器洗いなど”の目安とされる給湯温度に設定しても、リモコンに表示の給湯温度より高い湯温になる場合があります。必要に応じて水を混ぜ、湯温を確認してからご使用ください。
- お湯を1時間以上連続使用すると、給湯栓閉め忘れ確認のためアラーム番号“011”を表示し、加熱が止まり水になります。その場合は給湯栓を閉め、**運転**ボタンを「切」にし、5秒以上経過後「入」にしてからご使用ください。
- ふろ待機しない(→P.32)に設定の場合
 - ・ふろ自動運転のお湯はり中・たし湯運転中は、リモコンの**給湯温度**ボタンを押すと“ピピピッ”と受け付け禁止音が鳴り、給湯温度の設定はできません。
 - ・ふろ自動運転のお湯はり中・たし湯運転中に給湯・シャワーを使用すると、設定したふろ温度で出湯されます。
 - ・このときリモコンに表示の給湯温度は変わりません。設定したふろ温度が高いときに、給湯・シャワーを使用される場合はご注意ください。また、ふろ自動運転のお湯はりやたし湯運転が先に終了しても出湯中のお湯の温度は設定したふろ温度のままで、リモコンに表示の給湯温度には戻りません。リモコンに表示の給湯温度に戻すには給湯・シャワーを一度止めてから再度出湯してください。
 - ・ふろ自動運転やたし湯運転を一時中断(待機)させて、リモコンに表示の給湯温度で出湯する設定(ふろ待機する)もできます。(→P.32)

お願い

- 55℃以下の温度で給湯・シャワーを使用しているときは、やけど防止のため60℃には設定変更ができません。変更をしたいときは、一度給湯を止めてから設定してください。
- やけど防止のため、サーモスタット式混合水栓の使用をおすすめします。
- 混合水栓にはさまざまな種類があります。使用方法は、混合水栓の取扱説明書をご覧ください。
- 省電力待機中に給湯・シャワーを使うときは、ご使用前にリモコンの表示や手のひらでお湯の温度を確認してください。

メモ

- 給湯・シャワーの使用中に、「追いだき」・「暖房」運転を行うと、出湯中のお湯の量が減る場合があります。
- 給湯使用中でも**優先**の表示があるリモコンでは温度の変更ができます。
- 通常、給湯温度は**運転**ボタンを「切」にしても記憶されていますが、給湯温度を60℃に設定したときはやけどなどの危険防止のため、再度**運転**ボタンを「入」にしたとき自動的に55℃に設定されます。
- 省電力待機中(→P.31)に**給湯温度**ボタンを押すと、トップ画面を表示するとともに現在の給湯温度を音声ガイドでお知らせします。
- サーモスタット式混合水栓やシングルレバー式混合水栓をご使用の場合、混合水栓の機種や構造により、温度調節ハンドルの示す温度よりぬるいお湯が出ることがあります。このような場合は、リモコンの設定温度をご希望の湯温になるように高めに設定してください。

お湯を使うには

□リモコンの給湯温度が変更できないときは

リモコンで給湯温度を変更するには、操作するリモコンの画面に**優先**の表示が必要です。

給湯温度ボタンを操作しても給湯温度の変更ができない場合は、リモコンに**優先**が表示されているか確認してください。**優先**がない場合は□浴室リモコンに優先がないとき(→P.18)または□台所リモコンに優先がないとき(→P.18)をご覧ください。

優先とは

給湯温度の変更ができることを「優先」と呼び、給湯温度が変更できるリモコンには、**優先**を表示しています。

台所・浴室・洗面所など、機器からお湯を供給されている給湯栓からは、常に同じ温度のお湯が出ます。

そのため、お湯を使用中に使用者以外が給湯温度を変更すると、出ているお湯の温度が変わり、使用者がやけどをしたり、思わぬ事故の原因になったりします。このような事故などを防ぐために、**優先**の表示があるリモコンのみが給湯温度を変えられるようになっています。**優先**は、**運転**ボタンを「入」にしたリモコンに表示します。

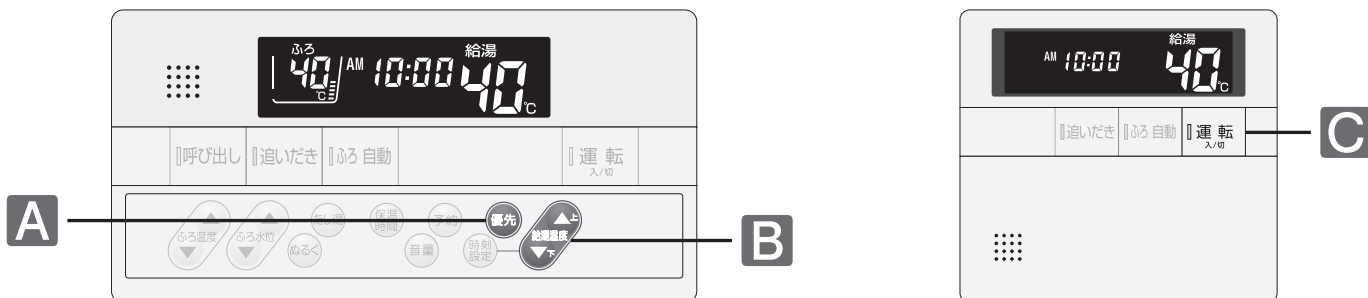
メモ

- 台所リモコンで**優先**がないときに給湯温度ボタンを押すと“給湯温度、浴室優先です 運転ボタンを入れ直してください”と、音声ガイドが流れます。

お湯を使うには

■優先を切り替える

目の前のリモコンで給湯温度の変更ができるようにします。



□浴室リモコンに優先がないとき **A** または **B** の方法で行う。

【浴室リモコンで行う】

A ふたを開け **優先** を押す



給湯温度、浴室優先です
浴室リモコンで記憶していた給湯温度と**優先**を表示します。

【浴室リモコンで行う】

B ふたを開け **給湯温度** を押す



給湯温度、浴室優先です
浴室リモコンで記憶していた給湯温度と**優先**を表示します。

□台所リモコンに優先がないとき **C** または **A** の方法で行う。

【台所リモコンで行う】

C **運転 入/切** を「切」にする

再度 **運転 入/切** を「入」にする



！ほかでお湯が使われていないことを確認のうえ、行ってください。
給湯温度、42°Cです

台所リモコンで記憶していた給湯温度を表示し、**優先**を表示します。
※ふる自動や追いだきなどが運転中の場合は、運転を停止します。
停止させたくない場合は、**A**の方法で優先を切り替えてください。

【浴室リモコンで行う】

A ふたを開け **優先** を押す



給湯温度、台所優先です
台所リモコンで記憶していた給湯温度を表示し、**優先**が消えます。

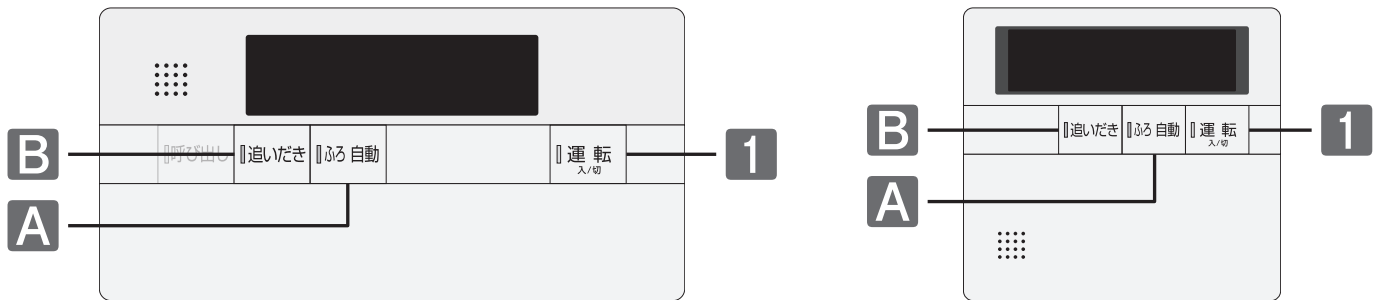


- 優先を切り替えたときは、55°Cより高い設定温度にはなりません。優先を切り替える前の給湯温度が60°Cだった場合、自動的に55°Cにセットされます。
- 優先切り替え後の給湯温度が、50°C以上の場合には“給湯温度、〇°Cです 熱い温度にセットされました 注意してください”とお知らせします。

お風呂を沸かす《ふろ自動運転》

■お風呂を沸かす

あらかじめ設定したふろ温度やふろ水位に合わせて、ボタンひとつでお風呂を沸かします。操作は、浴室リモコンで説明します。



- 入浴の際には念のためよくかきまぜて、湯加減を手で確かめる。確認を怠るとやけどのおそれがあります。
- お風呂の沸かし上げ中や保温中は、突然循環口より熱いお湯が出たり、循環口の周囲が熱くなっていることがあるので注意する。

確認

◎ふろ温度・ふろ水位・保温時間は合っていますか？ (→P.23 ~ 24)
台所リモコンでは、ふろ温度・ふろ水位・保温時間の確認はできません。

準備

浴槽の排水栓をしてふたをする

1



を「入」にする



給湯温度、40°Cです

A



を押す



お湯はりを始めます
お風呂の栓はしましたか

ふろ自動ランプ[橙]が点灯し、湯・を表示します。

設定した水位に近くなると

もうすぐお風呂に入れます

お風呂が沸き上がると、
保温に入ります

保温時間内は設定したふろ温度を保つため定期的に沸き上げ、浴槽内のお湯が減ると、設定したふろ水位までたし湯します。



お風呂が沸き上がると

お風呂が沸きました

ふろ自動ランプ[橙]が[緑]に変わり、保温を表示し、湯・は消えます。保温時間が終了すると、ふろ自動ランプ[緑]と保温が消えます。

ふろ自動中止



を押す



ふろ自動ランプ[橙]が消えて、ふろ自動運転を終了します。

お風呂を沸かす《ふろ自動運転》

お知らせ

- 以下の場合には“もうすぐお風呂に入れます”の音声ガイドが流れません。
 1. 予約運転でふろ自動運転を行ったとき。
 2. 残り湯がある状態からふろ自動運転を行った際、現在のふろ温度が設定したふろ温度に近いとき。
- ふろ自動運転のお湯はり中に、停電になるとふろ自動運転が停止し、循環口からの湯が止まります。
■ **お風呂を沸かし直す** (→以下参照) をご覧になり、再度お風呂を沸かし直してください。
- お風呂のお湯(水)を抜くときは、ふろ自動ランプが消灯していることを確認してください。ふろ自動ランプが点灯しているときは、**ふろ自動**ボタンを押してふろ自動運転を終了してください。

※

- 台所リモコンでふろ自動運転を開始したときの音声は“ふろ温度〇℃です”(設定したふろ温度)に続いて“お湯はりを始めます お風呂の栓はしましたか”と流れます。
- ふろ自動運転のお湯はり中に、循環口からお湯が出たり止まったりするとともにリモコンの加熱表示がついたり消えたりすることがあります。これはお風呂の水位を確認する動作なので、異常ではありません。
- 詳細な水位データを計測するため、設置後初めてのお湯はりには時間がかかります。
- ふろ待機する(→P.32)に設定の場合、ふろ自動運転のお湯はり中に給湯・シャワーを使用するとお湯はりが一時的に中断(待機)します。
- ふろ待機しない(→P.32)に設定の場合、給湯温度を50℃以上に設定しているときは、浴室リモコンの沸き上がりの音声ガイドが、“お風呂が沸きました”から“給湯温度〇℃です 熱い温度にセットされました 注意してください”に変わります。
- 保温時のお風呂沸かしは、気温などにより約15～30分の間隔で行います。
- 保温中にふろ温度を高めに変更しても、すぐには沸き上げません。保温中の次回沸かし直し時に、設定された温度まで沸き上げます。
- 排水栓をし忘れて、ふろ自動運転を始めると、リモコンに“032”または“252”が点滅し、ふろ自動運転を停止します。この場合は、排水栓をして**運転**ボタンを「切」にし、5秒以上経過してから再度**運転**ボタンを「入」にしてふろ自動運転を行ってください。

■お風呂を沸かし直す 沸かし直しをする場合は、残り湯の量で沸かし方を選びます。

【お湯の量が少なくて湯が必要な場合】

A **「ふろ自動」**を押す



お湯はりを始めます
お風呂の栓はしましたか
ふろ自動ランプ[橙]が点灯し、 を表示します。

【お湯の量が多くて湯が不要の場合】

B **「追いだき」**を押す



お風呂を沸かします
追いだきランプ[橙]が点灯し、 を表示します。

お知らせ

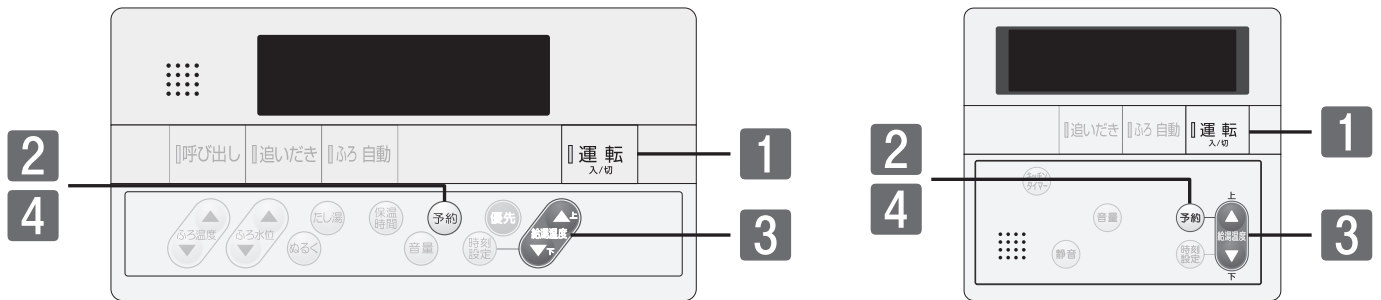
お風呂を沸かし直す際の水位について、以下の点にご注意ください。

- ・ お風呂が沸くまでの状態は「ふろ自動運転」と同じですが、残り湯の水位によっては設定したふろ水位と異なる場合があります。

お風呂を沸かす《予約運転》

■予約でお風呂を沸かす

あらかじめ決めた時刻にお風呂を沸き上げます。操作は、台所リモコンで説明します。



- 予約の設定は、予約時刻の60分前までに行ってください。予約時刻までの時間が短いと、沸き上がる時間が設定した時刻より遅くなる場合があります。また、風呂予約を確定した時点でお風呂沸かしを始めることがあります。
- 予約運転ごとに毎回実施してください。

確認

- ◎現在時刻は合っていますか？ (→P.14)
- ◎風呂温度・風呂水位・保温時間は合っていますか？ (→P.23 ~ 24)
台所リモコンでは、風呂温度・風呂水位・保温時間の確認はできません。

準備

浴槽の排水栓をしてふたをする

1 「運転」を「入」にする



給湯温度、40°Cです

2 ふたを開け「予約」を押す



風呂予約時刻を変更する場合は、上下ボタンで入力してください

🕒が点灯します。
※工場出荷時の予約時刻は、「PM 6:00」に設定されています。

3 「給湯温度」で予約時刻を設定する



▲は時刻が進みます。
▼は時刻が戻ります。

※上下ボタンは1回押すと1分単位、長押しすると10分→30分→1時間単位で進み(戻り)ます。
※予約時刻の変更をしない場合は4の操作に進みます。

4 「予約」を押す



風呂予約されました
お風呂の栓はしましたか

予約時刻の点滅から現在時刻の点灯に戻ります。
※予約ボタンを押さなくても、しばらくすると設定を完了します。

お風呂を沸かす《予約運転》

ふろ自動開始

予約した時刻にお風呂が沸き上がるように、お風呂沸かしが始まります



🕒 が消え、ふろ自動ランプ[橙]が点灯し、🔥 を表示します。

お湯はりを始めます
お風呂の栓はしましたか



お風呂が沸き上がると

お風呂が沸きました

🔥 が消え、ふろ自動ランプが[緑]に変わり、浴室リモコンには保温を表示します。

予約解除

【🕒 が点灯している場合】

ふたを開け **予約** を押す



ふろ予約、解除されました

🕒 が消えて予約を解除します。

【ふろ自動運転が始まっている場合】

ふろ自動 を押す



ふろ自動運転を終了します。
ふろ自動ランプ[橙]が消灯し、🔥 が消えます。
浴室リモコンでは湯も消えます。

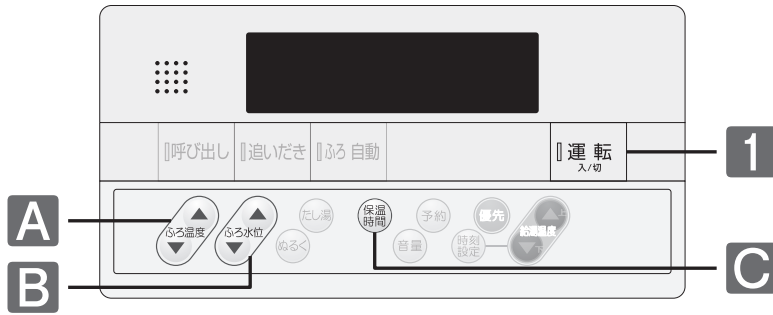
メモ

- ふろ予約運転の沸き上がり完了時刻は、予約運転中にお湯を使用したときや残り湯の量、また気温によって、多少前後する場合があります。
- 設定した予約時刻は、次回変更するまで記憶されます。
- ふろ予約後に**運転**ボタンを「切」にしてもふろ予約運転は行われます。
ただし、🕒表示中に以下の行為をすると、ふろ予約は解除されますので、ご注意ください。
 - ・**運転**ボタン「入」/「切」に関係なく、**予約**ボタンを押す。
 - ・ふろ自動・追いだき・たし湯・ぬるくなど循環口からお湯(水)が出るような操作をする。
 - ・ふろ待機設定の変更をする。(→P.32)
 - ・自動配管クリーンの設定を変更する。(→P.34)
- 停電や分電盤のブレーカーを「切」にした場合など通電が止まると、ふろ予約は解除されます。
復電後は、現在時刻を合わせてから再度**予約**ボタンを押してください。
- 現在時刻が「-:-」になっている場合、**予約**ボタンは使用できません。押すと「ピピピッ」と受け付け禁止音が鳴ります。
- ふろ自動・追いだき・たし湯・ぬるく運転中は**予約**ボタンを使用できません。押すと「ピピピッ」と受け付け禁止音が鳴ります。

ふろ温度・ふろ水位・保温時間を変更するには

■お風呂沸かしの設定を変更する

ふろ自動運転・ふろ予約運転のふろ温度/ふろ水位/保温時間を変更します。



1 「運転」を「入」にする



給湯温度、40℃です

ふろ温度の設定 お風呂の沸き上げ温度を変更します。

A ふたを開け
「ふろ温度」で調節する



ふろ温度41℃にセットされました

※省電力待機中にふろ温度ボタンを押すと“ふろ温度、○℃です”と音声が出ます。
※ふろ温度についてはふろ温度の目安(→P.24)をご覧ください。

ふろ水位の設定 お風呂の沸き上げ水位を変更します。

B ふたを開け「ふろ水位」を押す
「ふろ水位」で調節する



ふろ水位6です



ふろ水位5です

※ふろ水位についてはふろ水位の目安(→P.24)をご覧ください。



ふろ水位5にセットされました

ふろ水位変更後、しばらくたつと設定を完了します。

保温時間の設定 お風呂の保温時間を変更します。

C ふたを開け「保温時間」を押す
「保温時間」を押して調節する



保温時間、4時間です
変更する場合はもう一度ボタンを押してください



保温時間、5時間です

※保温時間については保温時間の目安(→P.24)をご覧ください。



保温時間変更後、しばらくたつと設定を完了します。

保温時間5時間にセットされました

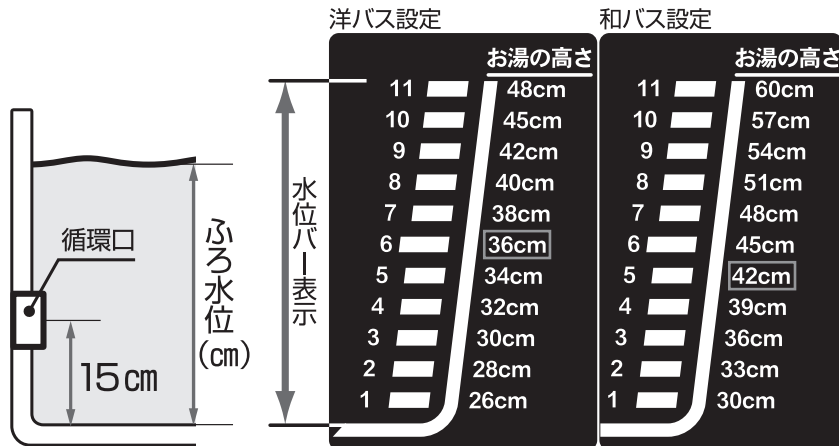
ふろ温度・ふろ水位・保温時間を変更するには—お風呂沸かしの設定を変更する

ふろ温度・ふろ水位・保温時間を変更するには

ふろ温度の目安(単位: °C) **40** :工場出荷時

33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48
ぬるい							標準			あつい					

ふろ水位の目安 :工場出荷時



※ふろ水位とは、浴槽下面からのお湯の高さのことです。(循環口の中心が浴槽下面より15cmの高さにある場合)

※ふろ水位変更時に、ふろ水位を変更しないまましばらくたつと設定を終了します。

※ふろ自動運転の保温中に設定したふろ水位から3cm以上水位が低くなると、設定したふろ水位までたし湯をします。

保温時間の目安(単位: 時間) **4** :工場出荷時

0	1	2	3	4	5	6	7	8
---	---	---	---	----------	---	---	---	---

※保温時間ボタンを押すたびに、1時間ずつ保温時間が増えます。8時間に達すると0時間に戻り、再び1時間ずつ保温時間が増えます。

※保温時間変更時に、保温時間を変更しないまましばらくたつと設定を終了します。

お知らせ

- 夏場など水温が高いときは、ふろ温度をぬるめに設定すると、設定したふろ温度より高い湯温になる(ふろ自動運転のお湯はり時に を表示しない)場合があります。

お願い

- 浴槽の種類や施工条件・気温によって、表示される温度や水位は実際と多少異なる場合があります。表示は目安としてお考えください。また、水位を高めめにセットすると浴槽からお湯があふれる場合がありますので、最初は工場出荷時の設定でお試しいただき、実際の水位を確認してからお好みの水位に調節することをおすすめします。なお、ふろ水位 (cm) は、循環口の中心が浴槽下面から15cmにあることを前提に設定されています。
- 工場出荷時のふろ水位設定は「洋バス」です。洋バス・和バス設定の変更についてはお買い上げの販売店、またはお近くの東邦ガスにご連絡ください。

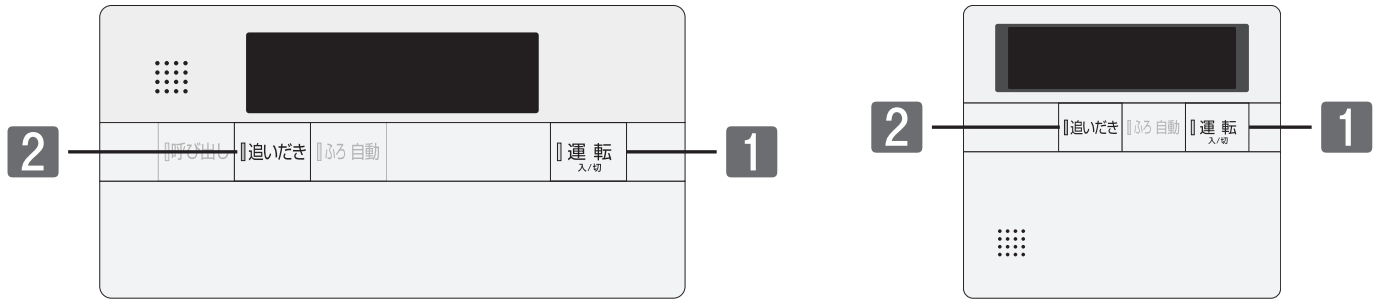
メモ



- 設定した内容は、次回変更するまで記憶されます。
- ふろ自動運転中でもふろ温度・ふろ水位・保温時間の設定を変更することができます。
- 保温時のおふる沸かしは、気温などにより約15～30分の間隔で行います。
- 保温中にふろ温度を高めに変更しても、すぐには沸き上げません。保温中の次回沸かし直し時に、設定された温度まで沸き上げます。

お風呂のお湯を熱くする

■追いだきをする


ぬるく感じた浴槽のお湯を沸かします。操作は、浴室リモコンで説明します。



 警告	●入浴の際には念のためよくかきまぜて、湯加減を手で確かめる。確認を怠るとやけどのおそれがあります。
 注意	●追いだきの操作をするときには、浴槽の循環口上部より5cm以上お湯(水)があることを確認する。 ●浴室リモコンで追いだきの操作を何度も繰り返さない。追いだきを繰り返すと、最高約50℃まで追いだきします。やけどにご注意ください。

お風呂のお湯を熱くする「追いだきをする」

1 **「運転」** を「入」にする



2 **「追いだき」** を押す



【以下の条件で沸き上げて自動的に停止します】

浴室リモコンで操作	浴槽のお湯の温度+2℃まで沸かします。(追いだき時の最高温度：50℃) 浴槽のお湯の温度が設定したふる温度より2℃以上低い場合は、設定したふる温度まで沸かします。
台所リモコンで操作	設定したふる温度まで沸かします。

追いだきが終了すると

「お風呂が沸きました」

追いだきランプ[橙]・[給湯]・[沸]が消えます。

もっと熱く 追いだき運転終了後に浴室リモコンの **「追いだき」** を押す

追いだき停止 **「追いだき」** を押す



お願い

- 浴室リモコンの**追いだき**ボタンは長く(5秒以上)押さないでください。入浴中に**追いだき**ボタンを5秒以上長押しすると、追いだきランプが点滅し、長期間使用しない場合に機器本体から水を抜くための状態になります。誤って長押しした場合は、もう一度、**追いだき**ボタンを押してください。アラーム番号[032]が表示された場合は**運転**ボタンを「切」にし、5秒以上経過後「入」にすると解除されます。追いだきをする場合は、再度、**追いだき**ボタンを押してください。
- 給湯栓やシャワーを使用して、浴槽へお湯(水)を入れながら追いだき運転をしないでください。アラーム番号が表示される場合があります。

メモ

- 台所リモコンで**追いだき**ボタンを押すと、台所リモコンでは**「お風呂を〇℃(設定したふる温度)に沸かします」と**音声ガイドが流れ、浴室リモコンでは**「お風呂を沸かします」と**音声ガイドが流れます。
- ふる自動運転のお湯はり中は、**追いだき**ボタンを使用できません。押すと「ピピピッ」と受け付け禁止音が鳴ります。

お風呂のお湯をふやす

■たし湯をする

少なく感じた浴槽のお湯を増やします。



1 「運転」を「入」にする



給湯温度、40°Cです

2 ふたを開け「たし湯」を押す



お湯をたします

湯・炎を表示します。
※約24Lのふろ温度のお湯を入れます。
終了すると湯・炎が消えます。

もっと増やす たし湯運転終了後に「たし湯」を押す

たし湯停止 「たし湯」を押す



湯・炎が消え、たし湯を中止します。

！お知らせ

- ふろ待機しない(→P.32)に設定の場合
 - ・給湯・シャワーを使用中にたし湯運転をすると、給湯・シャワーは設定したふろ温度で出湯されます。このときリモコンに表示の給湯温度は変わりません。設定したふろ温度が高いときに、給湯・シャワーを使用される場合はご注意ください。
 - ・たし湯運転が先に終了しても出湯中のお湯の温度は設定したふろ温度のままで、リモコンに表示の給湯温度には戻りません。リモコンに表示の給湯温度に戻すには給湯・シャワーを一度止めてから再度出湯してください。
 - ・給湯温度を50°C以上に設定している場合は、たし湯運転終了時(たし湯運転と給湯・シャワー同時使用のときにたし湯運転が先に終了した場合は出湯停止時)に“給湯温度、○°Cです 熱い温度にセットされました 注意してください”と、音声ガイドが流れます。
 - ・たし湯運転を一時中断(待機)させて、リモコンに表示の給湯温度で出湯する設定(ふろ待機する)もできます。(→P.32)
- 夏場など水温が高いときは、ふろ温度をぬるめに設定すると、たし湯時に設定したふろ温度より高い湯温になる(炎を表示しない)場合があります。

お願い

- ふろ自動運転のお湯はり中は、たし湯ボタンを使用できません。押すと“ピピピッ”と受け付け禁止音が鳴ります。

お風呂のお湯をぬるくする

■たし水をする

熱く感じた浴槽のお湯をぬるくします。



1 「運転」を「入」にする



給湯温度、40°Cです

2 ふたを開け「ぬるく」を押す



水をたします

水を表示します。
水を約12L入れます。
終了すると水が消えます。

もっとぬるく ぬるく運転終了後に「ぬるく」を押す

ぬるく停止 「ぬるく」を押す



水が消え、たし水を中止します。

！お知らせ

- ぬるく運転中に給湯・シャワーを使用すると、ぬるく運転は一時中断します。給湯・シャワーを終了するとぬるく運転を再開します。
- 給湯・シャワー使用中や、ふろ自動運転のお湯はり中は、「ぬるく」ボタンを使用できません。押すと“ピピピッ”と受け付け禁止音が鳴ります。

メモ

- ぬるく運転では自動的に約12Lの水を入れます。途中で湯加減を確かめてください。

暖房運転をするには

■暖房端末機器を運転する(暖房端末機器で行う)

暖房端末機器の運転/停止をします。


リモコンの操作はありません。

〈暖房端末機器にスイッチがあり、信号線を接続している場合〉

運転する

暖房端末機器の
運転スイッチを
「入」にする




リモコンの運転ボタンが「入」のとき、機器の加熱中はを表示します。


停止する

暖房端末機器の
運転スイッチを
「切」にする



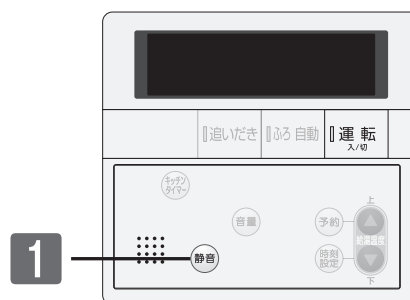
リモコンの運転ボタンが「入」のとき、機器が加熱していた場合はが消えます。



- リモコンの運転ボタンの「入」/「切」に関係なく、暖房運転を行います。暖房運転中は、暖房端末機器の運転状態により、がついたり消えたりします。
- 暖房水を自動的に補給しますので、給水元栓は開けたままにしておいてください。
- 暖房端末機器の運転方法・温度調節の方法については、暖房端末機器の取扱説明書をご覧ください。

■暖房時の運転音を小さくする

暖房運転時の能力を抑え、運転音を通常より静かにします。
リモコンの運転ボタンの「入」/「切」に関係なく設定できます。




□暖房静音を設定する

1 ふたを開け  を押す




 暖房静音セットされました
静音を表示します。

解除する

ふたを開け 
を押す



 暖房静音解除されました
静音が消えます。

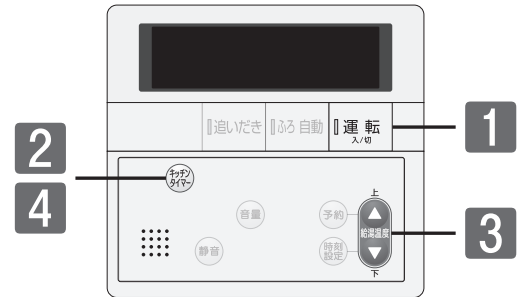


- 暖房静音は、暖房運転音を通常より静かにする機能です。この際、暖房能力は少し低下します。
- 設定した内容は、次回変更するまで記憶されます。
- リモコンの運転ボタンを「切」にしても設定は解除されません。
- 暖房静音運転中に追いだき運転やふろ自動運転を行うと暖房能力が上がるので、暖房運転音が静かにならない場合がありますが、異常ではありません。

キッチンタイマー

■キッチンタイマーを使う

台所リモコンをキッチンタイマーとして使用します。



キッチンタイマー「キッチンタイマー」を使う

1 運転入/切 を「入」にする

給湯温度、40°Cです

2 ふたを開け **キッチンタイマー** を押す

上下ボタンで入力してください

※2回目以降は、前回設定したタイマー時間を表示します。

3 **給湯温度** でタイマー時間を
変更する

▲は時刻が進みます。
▼は時刻が戻ります。

※キッチンタイマーは30秒単位で最大60分まで設定できます。
※図は3分00秒を表しています。

4 **キッチンタイマー** を押す

※キッチンタイマーボタンを押さなくても、タイマー時間変更後約5秒経過すると開始音を鳴らし、カウントダウンを始めます。

タイマー時間が点滅から点灯に変わり、カウントダウンを始めます。
※1秒刻みでカウントダウンします。

カウントダウンが終了するとチャイムでお知らせします。

タイマー停止 ふたを開け **キッチンタイマー** を押す

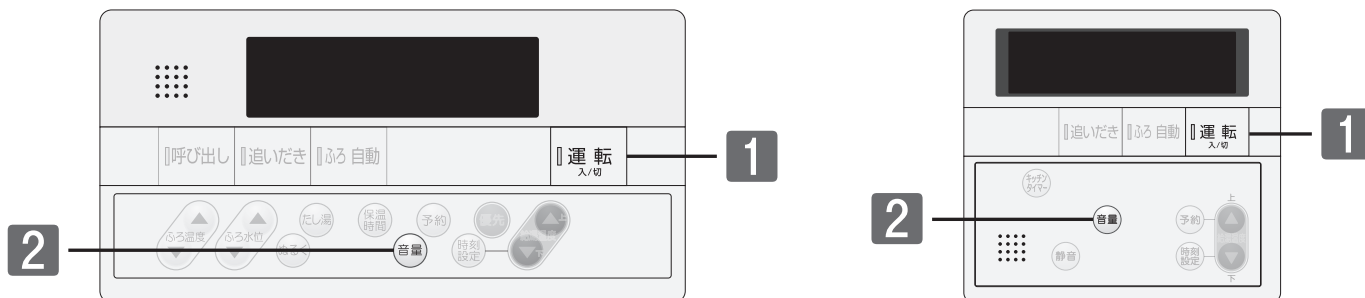
現在時刻を表示します。

- メモ**
- 設定した内容は、次回変更するまで記憶されます。
 - 2回目以降のタイマー時間設定時は、タイマー時間を変更しないままでも約15秒経過すると開始音を鳴らし、カウントダウンを始めます。
 - 音量を **■** に設定していると、音声・開始音・終了音は流れません。

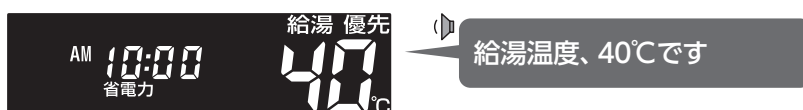
設定の変更をする

■音量を変更する

音量はリモコン(浴室・台所)別に変更できます。操作は、台所リモコンで説明します。



1 「運転」を「入」にする



2 ふたを開け「音量」を押す



音量ボタンを押すたびに以下のように音量が変わります。



音量変更後、約10秒経過すると設定を完了します。

音量の目安

2:工場出荷時

音量	音声	リモコン 操作音	警告音声 呼び出し音声	音声ガイド	
				音量選択時	設定完了時
3	大	大	大	音量3です	音量3にセットされました
2	中	中	中	音量2です	音量2にセットされました
1	小	小	中	音量1です	音量1にセットされました
0	無音	小	中	音声を消します	(音声ガイドはありません)
-	無音	無音	中	音を消します	(音声ガイドはありません)

メモ

- 設定した内容は、次回変更するまで記憶されます。
- 音量ボタンを押したあと、音量を変更せずに約25秒経過すると設定を終了します。
- 音量を「0」・「-」に設定すると音声ガイドは流れません。ただし、警告音声や呼び出しボタンが押されたときのチャイム・呼び出し音声は音量「2」で流れます。
- ふろ自動・追いだき運転の沸き上がり音声は、音量を「0」に設定した場合でも音量「1」となります。
- 音量の設定は連動していません。それぞれのリモコン(浴室・台所)で設定を行ないます。

設定の変更をする - 音量を変更する

設定の変更をする

■省電力の設定を変更する

5分以上お湯の使用やリモコン操作がないと、リモコンの画面表示を消して電力の節約をします。工場出荷時は、省電力に設定されています。



□省電力機能の解除

省電力を解除するには浴室リモコンで次の操作を行ってください。(台所リモコンも同時に設定されます)

1 運転 入/切 を「入」にする

給湯温度、40°Cです

2 ふたを開け (音量) を5秒以上長押しする

省電力、解除されました
省電力が消えます。

設定を戻す

1 ~ **2** の操作をする

省電力、セットされました
省電力を表示します。

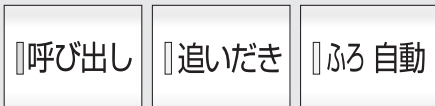
設定の変更をする一省電力の設定を変更する

省電力待機中に画面を表示させるには

各ボタンを押すと表示します

！お知らせ

右図のボタンは、押すと画面が表示されると同時に、動作を開始します。



リモコン操作をしなくてもこんな場合は表示します

- ・お湯を使用しているとき
- ・給湯温度を50°C以上に設定しているとき
- ・ふろ自動運転中(保温/ふろ予約を含む)
- ・暖房加熱中(凍結予防を含む)

お願い

- 省電力待機中に給湯・シャワーを使うときは、画面を表示して給湯温度を確認してからご使用ください。

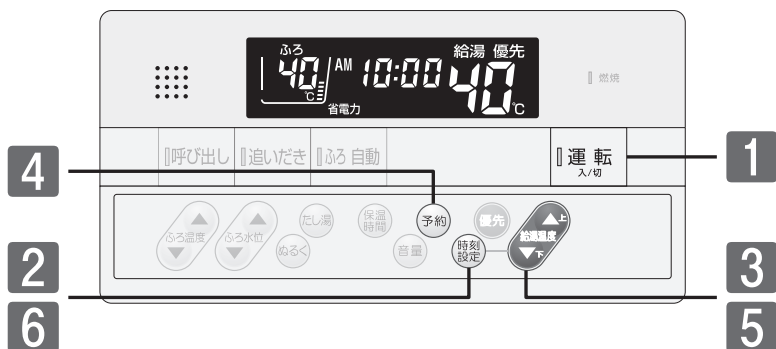
メモ

- 設定した内容は、次回変更するまで記憶されます。省電力は運転ボタンの「入」/「切」では解除できません。
- 省電力待機中は、運転ランプが少し暗くなります。
- 台所リモコンの省電力待機中に、浴室リモコンの呼び出しボタンが押されたときは、台所リモコンは画面の表示をしないまま“お風呂で呼んでいます”と音声流れます。

設定の変更をする

■ふろ待機設定について

お湯はりやたし湯中でも給湯・シャワーを給湯温度で使用できるようにします。



1 **「運転 入/切」** を「切」にする



2 ふたを開け **時刻設定** を2秒以上長押しする



3 **給湯温度** を押して **2** を選択する



2 が点滅します

4 **予約** を押す



0 へ点滅が変わります

5 **給湯温度** を押して **1** を選択する



0 →ふろ待機しない
(工場出荷時)
1 →ふろ待機する

6 **時刻設定** を押す



🔊 セットされました

ふろ待機しない	ふろ自動運転のお湯はり中やたし湯運転中に、給湯の同時使用が可能です。同時使用中の給湯・シャワーは、ふろ温度で出湯します。
ふろ待機する	ふろ自動運転のお湯はり中やたし湯運転中に給湯を使用すると、ふろ自動運転のお湯はりやたし湯が一時中断(待機)します。給湯・シャワーは、リモコンに表示の給湯温度で出湯します。

- メモ**
- 設定した内容は、次回変更するまで記憶されます。
 - 水圧が低い場合、ふろ待機しないに設定していても、ふろ自動運転のお湯はりやたし湯が一時中断(待機)する場合があります。このときの給湯・シャワーは、ふろ温度で出湯します。
 - ふろ予約が設定されている状態でふろ待機設定を行うと、ふろ予約は解除されます。

設定の変更をする - ふろ待機設定について

知っているると便利な機能

■自動配管クリーンをする

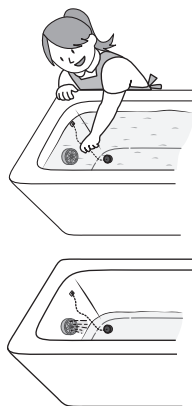
ふろ自動運転終了後の排水時に、自動でふろ配管の残り湯を排出します。

リモコンの操作はありません

確認

- ◎ふろ自動運転でおふろを沸かしましたか？
- ◎ふろ自動運転は終了していますか？
 - ❗必ずふろ自動運転が終了していることを確認してください。
ふろ自動ランプが点灯してる場合は、ふろ自動ボタンを押します。
- ◎残り湯が循環口より上(約5cm)にありますか？
- ◎排水中に給湯などを使用していませんか？


1 おふろの栓を抜く



残り湯の水位が循環口より低くなり、しばらくすると自動配管クリーンが始まります

6Lのお湯(または水)を約1分間流し、自動停止します。



リモコンの運転ボタン「入」のとき、お湯を流し出している間は**クリーン**とを表示します。

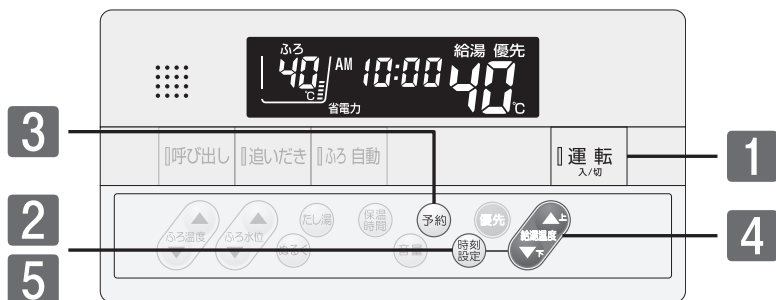
メモ

- 日常のお手入れとして、配管クリーンを行うと配管に湯あかがたまりにくくなりますが、配管を洗浄する機能はありません。
- 自動配管クリーンはリモコンの**運転**ボタン「入」/「切」に関係なく機能します。ただし、停電や分電盤のブレーカーを「切」にした場合など、一時的に通電が止まった場合は機能しません。
- 自動配管クリーンはリモコンの**運転**ボタン「入」のときはリモコンに表示のふろ温度のお湯で、「切」のときは水で流し出します。
- 自動配管クリーン動作中に給湯・シャワーを使用すると、自動配管クリーンを終了します。
- ふろ自動運転終了(ふろ自動ボタンの[緑]または[橙]が消えた)後、お湯のくみ出しなどで浴槽の水位が循環口より低くなってしまった場合にも、自動配管クリーンの機能がはたらきます。
- 自動配管クリーンを作動させない設定にすることもできます。(→P.34)

知っているると便利な機能

■自動配管クリーンの設定を変更する

自動配管クリーン機能を動作しないようにします。



1 運転 入/切 を「切」にする



2 ふたを開け 時刻設定 を2秒以上長押しする



1 が点滅します

3 予約 を押す



4 へ点滅が変わります

4 給湯温度 を押して 1 を選択する



4 → 自動配管クリーンをする (工場出荷時)

1 → 自動配管クリーンをしない

5 時刻設定 を押す



🔊 セットされました



●設定した内容は、次回変更するまで記憶されます。

●ふろ予約が設定されている状態で自動配管クリーンの設定を行うと、ふろ予約は解除されます。

冬期の凍結予防をするには

お願い

- 暖かい地域でも、機器や配管内の水が凍結して破損事故が起こることがあります。以下をお読みいただき、必要な処置をしてください。
- 凍結により機器や配管が損傷した場合の修理費は、保証期間内でも有料となります。

処置 1

← 通常の寒さのとき

処置 2

← 外気温が -15°C を下回るとき -15°C より高くても風のある日

処置 1

凍結予防装置による方法

機器には、気温が下がってくると自動的に浴槽の水(お湯)や暖房に使用する水(お湯)を循環して、ふる配管や暖房回路の凍結を予防する凍結予防装置がついています。



分電盤のブレーカーを「切」にしない

分電盤のブレーカーを「切」にすると凍結予防装置がはたらきません。

- ◆凍結予防装置は、**運転**ボタンの「入」/「切」に関係なく作動します。
- ◆配管は凍結することがあります。配管は必ず保温材を巻くなど、地域に応じた処置をしてください。


浴槽の水位を循環口上部より5 cm以上高い位置にする

浴槽の水(お湯)を循環して凍結予防をするため、浴槽の残り湯は捨てずにそのままにしておいてください。

- ◆浴槽の水(お湯)を循環する凍結予防の動作中は、リモコンにを点滅表示します。
- ※**運転**ボタンが「切」のときや、省電力待機中はを表示しません。

暖房回路の凍結予防のために熱媒元栓は開けておく

暖房回路は気温が下がってくると自動的に暖房運転(加熱)し、暖房回路を温めて凍結予防をします。

- ◆機器および暖房端末機器の電源プラグを抜かない、または分電盤のブレーカーを「切」にしないでください。(暖房端末機器の種類によっては凍結予防ができない場合があります)
- ◆凍結予防の動作中、リモコンにを表示することがあります。
- ◆暖房回路の凍結予防には、不凍液を使用する方法もあります。(→P.36)

お願い

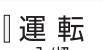
- 凍結が懸念される場合に給湯する際は、給湯栓を開けて水が出ることを確認してから、**運転**ボタンを「入」にしてください。
- 凍結予防装置が作動している間や固着防止のため熱媒弁が開閉(24時間に1回)している間は、機器を使用しなくても熱媒使用料金が発生します。

処置 2

給湯栓から水を流す方法

この方法は機器本体だけでなく、給水・給湯配管やバルブ類および給湯栓の凍結予防に有効です。

1

リモコンの  を「切」にする

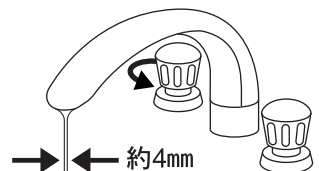
必ず行います。

※リモコンの運転ランプが消灯していることを確認してください。

2

浴室の給湯栓を開け、1分間に400cc程度の水を流し続ける

流量が不安定なことがありますので、念のため約30分後に流量を確認してください。



※サーモスタート式混合水栓やシングルレバー式混合水栓の場合は、最高温度側にします。

メモ

- 給湯栓から水を流す方法で凍結予防をしているときは、家の人に凍結予防のために水を流していることをお知らせください。水を止めると凍結します。
- 通水使用の禁止として、リモコンの**運転**ボタンを「切」した状態で給湯栓を開けて水を出さないようお願いしていますが、凍結予防の場合は問題ありません。(→P.6)
- サーモスタート式混合水栓やシングルレバー式混合水栓をご利用の場合は、再使用時の給湯温度設定にご注意ください。



冬期の凍結予防をするには

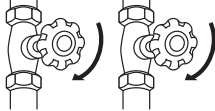
■不凍液による方法


- 寒冷地では指定された不凍液を使用してください。指定以外の不凍液は機器に悪影響を与える場合がありますのでご注意ください。
- 不凍液は経年劣化しますので毎シーズン初めにお買い上げの販売店、またはお近くの東邦ガスに点検を依頼してください。(有料)
- 不凍液の性能が低下している場合は交換(有料)が必要です。交換の目安は3年に1回程度になります。性能が低下したまま使い続けると、凍結・破損・腐食の原因になります。

■凍結してしまったとき

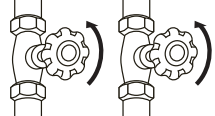
凍結したときは給湯栓を開けても水は出てきません。凍結したままでは絶対に使用しないでください。解凍するまで待ち、次の操作により水が出ることを確認してから運転してください。


 注意	●凍結による水漏れに気づいたときは、速やかに給水元栓を閉め、機器の使用を中止する。機器や配管が破損し、床や壁などを濡らして生じる損害はおお客様の責任となります。	 必ず行う
--	--	---

1 熱媒元栓および給水元栓を閉める		機器の下部にあります。 ※給水元栓を閉めるのは、配管が破損していた場合の水漏れを防ぐためです。
--------------------------	--	--

2 リモコンの運転ボタンを「切」にする		※リモコンの運転ランプが消灯していることを確認してください。
----------------------------	--	--------------------------------

3 ときどき給水元栓と給湯栓を開けて、給湯栓から水が出ることを確認する ※給湯栓から水が出ることを確認したら、給湯栓を閉めます。	レバーをお湯側にして開ける 	水が出てくれば使用できます。
--	--	----------------

4 給水元栓を全開にし、熱媒元栓を全開にする		必ず、機器および配管から水漏れがないことを確認します。
-------------------------------	--	-----------------------------

5 リモコンの運転ボタンを「入」にする		
----------------------------	---	--




6 給湯栓を開け、お湯が出ることを確認する		
------------------------------	--	--

7 ふろ自動運転を行い、機器の水漏れがないことを確認する また、循環口からお湯が出ることも確認する	※しばらく(1分程度)しても循環口からお湯が出ない場合は、ふろ自動運転を停止してください。
---	---

お願い

- 給水・給湯配管が凍結すると配管や給湯栓が破損することがあります。解凍後は、すべての給湯栓を閉めてから水道メーターを見るなど水漏れしていないことをご確認ください。

点検のポイント・お手入れのしかた

警告	●機器のフロントカバーを外したり、リモコンを分解したりしない。	 分解禁止
注意	<p>●台所リモコンは防水タイプではないため、水をかけない。リモコンの内部には電気部品が入っていますので故障の原因になります。また、浴室リモコンは防水タイプですが、故意に水をかけないでください。</p> <p>●リモコンのお手入れには、シンナー・アセトン・ベンジンなどの有機溶剤や洗剤(塩素系洗剤・酸性洗剤・アルカリ性洗剤)、みがき粉(研磨剤の入った洗剤)、メラミンスポンジやたわしなどを使用しない。リモコン本体の変色や変形・傷・割れなどの原因になります。</p> <p>●熱媒配管に触らない。やけどのおそれがあります。</p>	 禁止
	●機器のお手入れは、熱媒元栓を閉め、分電盤のブレーカーを「切」にし、機器が冷えてから行う。また、けがなどをしないように、手袋などを着用し十分注意してください。	 必ず行う

■点検のポイント(月1回程度)

次の4つのポイントで点検してください。

1. 機器および配管から水漏れはありませんか？
水漏れは、機器の故障だけでなくお隣や階下の方にも多大な迷惑となります。
2. 運転中に機器から異常音が聞こえませんか？
3. 機器の外観に異常は見られませんか？
4. 浴槽に循環口フィルターがついていますか？



■お手入れのしかた(月1回程度)

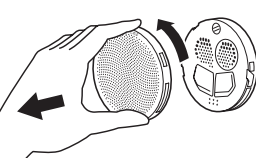
機器本体およびリモコンのお手入れ

- 汚れは、湿ったやわらかい布で軽く拭き取ってください。それでも落ちない汚れは、台所用中性洗剤(野菜・食器洗い用)を少量含ませて、軽く拭き取ってください。
- 台所用中性洗剤(野菜・食器洗い用)以外の洗剤などは、使わないでください。変色・変形する場合があります。


■循環口フィルターの掃除(こまめに掃除)

浴槽をお掃除するときは循環口フィルターも掃除してください。循環口フィルターには、湯あかや毛、タオルのくずなどが意外と多くたまります。循環口フィルターが詰まると、お湯はりの時間が長くなったり、追いだきができなくなったりすることがあります。

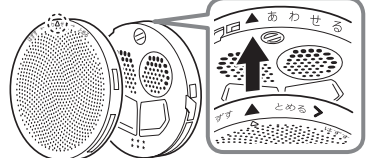
1 左に回して
手前に引く



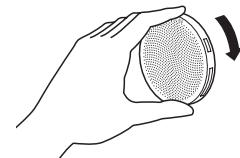
2 歯ブラシなど
で洗う



3 △の印を合わせて
はめる



4 右に回して
止める



お願い

- 安全にお使いいただくために、点検・お手入れは月1回程度必ず行ってください。
- 循環口フィルターは必ず取り付けでご使用ください。循環口フィルターを付けないでふる運転をすると、ポンプなどの故障の原因になります。
- 給湯栓の先端に泡沫器が内蔵されているものについては、ときどき内部のフィルター(金網)を掃除してください。
- 水圧の低い地域では泡沫器を使用しないでください。
- 故障または破損したと思われるときは使用しないでください。
このときお客様ご自身で修理せず、お買い上げの販売店、またはお近くの東邦ガスにご連絡ください。

点検のポイント・お手入れのしかた

■給水口フィルターの掃除

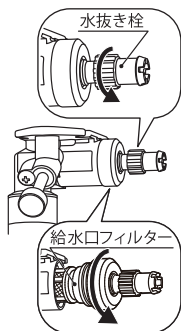
給水口フィルターが詰まるとお湯の出が悪くなったり、お湯にならない場合があります。次の要領で給水口フィルターを掃除してください。

1 給水元栓を閉める
給湯栓を開けて閉める

※圧力を逃がすためです。

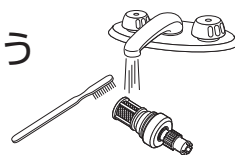
2 水抜き栓を緩める
水が出なくなるまで待ち
水抜き栓を閉める

※水抜き栓の位置は、**□水抜き栓位置** (以下参照) をご覧ください。



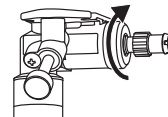
3 給水口フィルターを外す

4 歯ブラシなどで洗う



5 給水口フィルターを元に戻す

※水抜き栓の位置は、**□水抜き栓位置** (以下参照) をご覧ください。



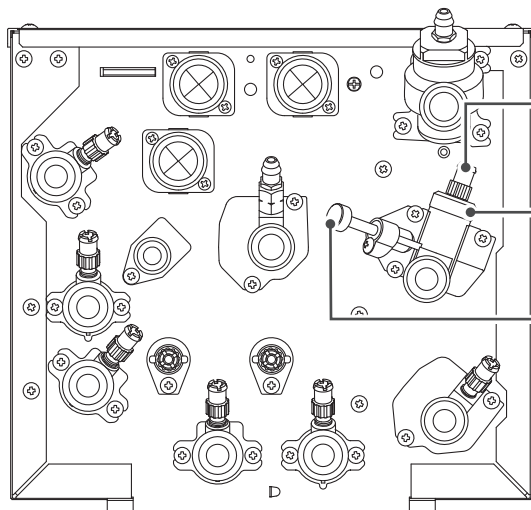
6 給水元栓を開ける

■点検・お手入れ後の確認

点検・お手入れ後は熱媒元栓を全開にして、リモコンの**運転ボタン**を「入」にしてから給湯栓を開け、機器が正常に作動していることを確認してください。万一、臭気・異常音・異常な温度を感じられたときや、機器または配管から水漏れしているときは、機器の使用を中止し、熱媒元栓・給水元栓を閉めてお買い上げの販売店、またはお近くの東邦ガスにご連絡ください。

□水抜き栓位置

- 下から見た図 -



水抜き栓

給水口フィルター

補水バルブ

工場出荷時は全開です。

※機器に補水スイッチがついている場合、補水バルブは閉まっています。
(開: 左回し 閉: 右回し)

■定期点検のおすすめ(有料)

機器を安心して長くご使用いただくために、1年に1回程度点検を受けることをおすすめします。なお、給水用具(逆流防止装置)に関しては、4～6年に1回程度の点検をおすすめします。点検はお買い上げの販売店、またはお近くの東邦ガスにご相談ください。

お願い

- 水抜き栓(給水口フィルター)を外すと水が出ます。水が流れては不都合な場所では、あらかじめ容器を用意して水を受けてください。
- 再使用するときは、水抜き栓(給水口フィルター)を元のとおり確実に閉めてください。閉めかたが不十分だったり閉め忘れたりすると、そこから水漏れします。

故障かな?と思ったら

故障かな?と思っても、よく調べてみると故障ではない場合もあります。以下の内容をお調べのうえ、なお異常があるときはお買い上げの販売店、またはお近くの東邦ガスにお問い合わせください。

給湯栓やシャワーから出るお湯	
こんなとき	こんなことが考えられます/ここを調べてください
給湯栓を絞りすぎて水になった	給湯栓から出るお湯の量を少なくすると、機器が加熱を止め、水になります。給湯栓をもっと開けてください。
お湯の温度が安定しない	機器の故障が考えられます。お買い上げの販売店、またはお近くの東邦ガスにご連絡ください。
給湯栓を開いてもお湯が出ない 給湯栓を開いてもお湯にならない	熱媒元栓・給水元栓が全開になっていますか。(→P.13) 断水していませんか。断水中は機器を使用できません。(→P.6) 給湯栓が十分に開いていますか。少量のお湯を出そうとすると、お湯にならない場合があります。 夏場など、水温が高いときに低温のお湯を出そうとすると、お湯にならない場合があります。 給水口フィルターが詰まっていますか。 給水口フィルターの掃除をしてください。(→P.38) リモコンの 運転 ボタンが「入」になっていますか。 凍結していませんか。 停電していませんか。 分電盤のブレーカーが「入」になっていますか。(→P.13)
給湯栓を開けてもすぐにお湯が出てこない	機器から給湯栓まで距離がありますので、お湯が出てくるまでには少し時間がかかります。
低温のお湯が出ない 高温のお湯が出ない	熱媒元栓・給水元栓が全開になっていますか。(→P.13) 給湯温度の設定は適切ですか。(→P.16) 夏場など、水温が高いときに低温のお湯を出そうとすると、お湯の温度が設定温度より高くなる場合があります。 少量のお湯を出そうとすると、お湯の温度が設定温度より高くなる場合があります。 ふる待機しない(→P.32)に設定の場合、「ふる自動」や「たし湯」中にお湯を使用すると給湯温度の表示はそのまま、ふる温度のお湯が出ます。ふる自動やたし湯が終了しても、出湯中のお湯の温度は設定したふる温度のままで給湯温度に戻りません。一度お湯を止めてから再度給湯栓を開けてください。
給湯温度の変更ができない	操作しているリモコンの画面に優先が表示されていますか。(→P.18)
給湯栓から出るお湯の量が少ない 給湯栓から出るお湯の量が変化する	機器から一度に出るお湯の量には限りがあります。同時に複数の給湯栓でお湯を出したり、「ふる自動」・「追いだき」・「たし湯」・「暖房」運転をしたりするとお湯の量が減る場合があります。 湯温を安定させるために自動的に湯量を調整しています。すぐに湯量は安定します。 給湯栓の種類によっては、はじめに多く出てその後安定するなど、出湯量に変化するものがあります。
お湯が白く濁って見える	水中に溶け込んでいた空気が熱せられ、大気圧まで急速に減圧されることで細かい泡となって出てくる現象です。汚濁とは違って無害なもので、異常ではありません。

機器	
こんなとき	こんなことが考えられます/ここを調べてください
「ふる自動」保温中にときどきポンプが回る	浴槽のお湯の温度を検知するため、およそ15～30分間隔で回ります。
運転終了後もしばらく音がする	「ふる自動」・「追いだき」・「ぬるく」・「たし湯」運転終了後、しばらくポンプが回ります。
冬場など気温が低いとき暖房のポンプが自動的に動く	凍結予防のため、ポンプが自動運転を行っています。
給湯使用中や給湯終了後しばらくの間コトコトと音がする	お湯の温度を安定させるために動かしているモーターの音です。 故障ではありません。
ときどき水抜き栓から水が出る	水抜き栓をしっかり閉めていないと水漏れします。
雷が鳴ったあと機器が作動しない	落雷の際に、機器内の漏電安全装置が作動したことが考えられます。この場合は分電盤のブレーカーを一度「切」にし、再度「入」にしてください。それでも使用できないときはお買い上げの販売店、またはお近くの東邦ガスまでお問い合わせください。

故障かな?と思ったら





お風呂

こんなとき	こんなことが考えられます / ここを調べてください
お風呂の温度が熱い お風呂の温度がぬるい	ふろ温度の設定は適切ですか。(→P.23) 循環口フィルターが詰まっていますか。循環口フィルターの掃除をしてください。(→P.37)
お風呂のお湯が少ない(多い)	ふろ水位の設定は適切ですか。(→P.24) 循環口フィルターが詰まっていますか。循環口フィルターの掃除をしてください。(→P.37) 残り湯がある状態で「ふろ自動」を行うと、水位が高くなる場合があります。 設定した水位にならない場合は、ふろ水位のリセットを行ってください。(→P.42)
「ふろ自動」の初めにお湯はりが ときどき停止する	正確にお湯はりを行うため、浴槽の残り湯を確認するための動作です。 異常ではありません。
お風呂を使用していないのに 循環口からお湯(水)が出る	浴槽のお湯を排水した後、ふろ配管内の残り湯を流し出す機能がはたらくと、循環口から お湯(水)が出ます。異常ではありません。(→P.33) お湯を使用すると機器内が温まり、ふろ配管に残っている水が循環口から出る場合があります。 凍結予防のためにポンプが回ったとき、ふろ配管に残ってる水が循環口から出る場合があります。
自動配管クリーンが途中で止まる	自動配管クリーン動作中に給湯・シャワーを使用したり、凍結予防装置がはたらいたり すると自動配管クリーンは終了します。異常ではありません。
追いだきができない 追いだきが停止する	循環口フィルターが詰まっていますか。循環口フィルターの掃除をしてください。(→P.37) 循環口上部より5cm以上お湯(水)が入っていますか。 足りない場合はお湯(水)を足してください。
お風呂の沸き上がりがいつもより 時間がかかる	給湯・暖房運転・お風呂沸かしを同時に行うと一時的に能力が下がり、沸き上がりまでに 時間がかかる場合があります。 ふろ待機設定を「する」(→P.32)に設定した場合、「ふろ自動」と給湯を同時に行うと、 給湯使用中はお風呂のお湯はりを一時中断します。給湯を止めるとお湯はりを再開します。 そのため、お風呂の沸き上がりにかかる時間がいつもより長くなります。

暖房

こんなとき	こんなことが考えられます / ここを調べてください
床暖房の温度や、浴室暖房乾燥機の 温風温度が低くなった	給湯・暖房・お風呂沸かしを同時に行うと一時的に能力が下がり、床暖房の温度や浴室 暖房乾燥機の温風温度が低くなる場合があります。
床面がなかなかあたたまらない	床仕上げ材の種類・住宅構造・気温などにより床面があたたまるまでの時間は異なります。 床暖房の温度設定は適切ですか。 暖房・給湯・お風呂沸かしを同時に行うと能力が下がり、床面がなかなかあたたまらない 場合があります。
床暖房を使用していないのに床面が あたたまることがある	暖房回路内にたまった空気を抜くためと暖房ポンプの固着を防止するために、約1か月 ごとにポンプが作動します。このときに他の暖房端末機器(浴室暖房など)を使用している と、床面の温度が一時的に若干上昇する可能性があります。

リモコン

こんなとき	こんなことが考えられます / ここを調べてください
運転ボタンを押しても「入」にならない	停電していませんか。(→P.6) 分電盤のブレーカーが「入」になっていますか。(→P.13)
リモコンの画面表示がいつのまにか 消えている	お湯を使わないまま、またはリモコンの操作がないまま約5分以上経過すると、画面表示 が消えます。(省電力待機中)(→P.31)
リモコンの時刻表示が「--:--」に なっている	停電や分電盤のブレーカーを「切」にしたあと、復電後の時刻表示は「--:--」になり ます。時刻合わせを行ってください。(→P.14)
画面に  を表示している	凍結予防のためポンプが作動しているとき、リモコンの画面に表示します。(→P.35) また、凍結予防の加熱中は  を表示します。
音が出ない	音量の設定が  ・  になっていませんか。リモコンの設定を確認してください。(→P.30)
音が小さい 音がこもる	音量の設定は適切ですか。(→P.30) スピーカー部分にお湯(水)がかかっていますか。

故障かな?と思ったら

その他	
こんなとき	こんなことが考えられます/ここを調べてください
浴槽・洗面台が青く見える	湯あかが残っていると、水中の微量の銅イオンと化合して青く変色することがありますが、健康上問題はありません。浴室や洗面台の掃除をこまめに行うことで着色しにくくなります。

■アラーム表示について(リモコンに表示されます)

機器に不具合が生じると、その原因をリモコンにアラーム番号で点滅表示してお知らせします。

〔浴室リモコン〕

番号によっては、給湯やふろ温度表示部に補足番号が出る場合があります。ご連絡の際は、アラーム番号と併せてお知らせください。



〔台所リモコン〕

簡易表示のため、アラーム番号のみを点滅表示します。



お客様で対処が可能なもの		
アラーム番号	原因	処置方法
011	給湯を60分以上連続で使用した	給湯栓を閉める。 運転ボタンを「切」にし、5秒以上経過後「入」にする。
032	浴槽の排水栓閉め忘れ	浴槽の排水栓を閉める。 運転ボタンを「切」にし、5秒以上経過後「入」にする。
043	補給水異常 (暖房タンクの水が足りない)	機器フロントカバーに貼り付けの手动補水操作に従い、手动補水を行う。 補水スイッチ(別売品)が取り付けられているため、手动補水が必要です。 ※手动補水を行うための補水バルブの位置は □水抜き栓図(→P.38)をご覧ください。
252	ふろ自動ボタンが「入」の状態 排水栓を抜いた(閉め忘れた)	浴槽の排水栓を閉める。 運転ボタンを「切」にし、5秒以上経過後「入」にする。
	ふろ自動(保温中)・追いだき時に 浴槽のお湯(水)が足りない	運転ボタンを「切」にし、5秒以上経過後「入」にする。 循環口の上部より5cm以上お湯(水)を入れてから追いだきボタンを押す。 ふろ自動の保温を継続したい場合は、ふろ自動ボタンを押す。 ※湯量が多くなる可能性がありますので、あふれにご注意ください。
	循環口フィルター詰まり	循環口フィルターを掃除し、正しく取り付ける。 運転ボタンを「切」にし、5秒以上経過後「入」にする。
562	ふろ自動ボタンと追いだきボタン を押し間違えた	運転ボタンを「切」にし、5秒以上経過後「入」にする。 ふろ自動ボタンを「入」にする。
	注湯・注水ができない	断水でないこと、または給水元栓が全開になっていることを確認する。 運転ボタンを「切」にし、5秒以上経過後「入」にする。

◇処置をしてもなお、アラーム番号が表示されるとき、上記以外のアラーム番号が表示されたとき、その他わからないときは、お買い上げの販売店、またはお近くの東邦ガスまでお問い合わせください。

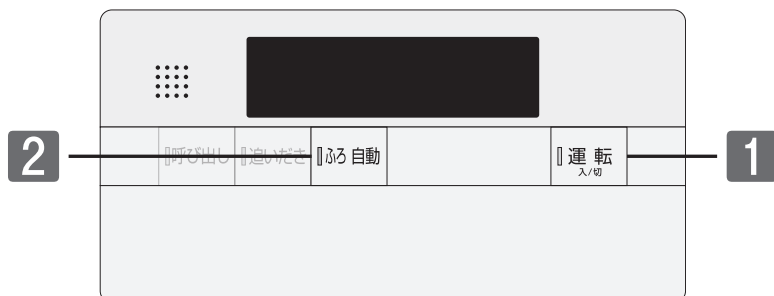
以下の場合には、お買い上げの販売店、またはお近くの東邦ガスまでご連絡ください								
002	035	170	173	300	310	311	312	313
321	323	331	343	350	422	432	433	501
542	543	623	632	650	661	700	740	750
763								

故障かな?と思ったら「アラーム表示について」(リモコンに表示されます)

故障かな?と思ったら

■設定したふろ水位にならないときは

「故障かな?と思ったら」を確認しても、設定した水位どおりにおふろが沸き上がらない場合は、以下の操作でふろ水位のリセットを行ってください。



準備

- ◎浴槽の栓を抜き、浴槽を空にする
- ◎空になったことを確認し、浴槽の排水栓をする
- ◎ふろ水位を確認する

1 「運転 入/切」を「入」にする



給湯温度40°Cです

2 「ふろ自動」を5秒以上長押しする



“ピピッ”と鳴り、ふろ自動ランプ [橙] がゆっくり点滅し、湯・火を表示します。

ふろ自動運転が終了するまで、そのままにします。

運転が終了すると、ふろ自動ランプ・湯・火が消えます。

終了後、ふろの水位を確認する

！お知らせ

- 詳細な水位データを計測するため、通常のお湯はり時間より2倍程度かかります。
- ふろ水位リセット完了後、それでも水位がおかしい場合は、お買い上げの販売店、またはお近くの東邦ガスにご連絡ください。

アフターサービスについて

サービスを依頼されるときは

- 「故障かな?と思ったら」(→P.39～42)をご確認ください。それでも直らない場合、あるいはご不明の場合には、ご自分で修理なさらないで、お買い上げの販売店、またはお近くの東邦ガスにご連絡ください。
- アフターサービスをお申しつけの際は、次のことをお知らせください。
 - (1) お名前・ご住所・電話番号・道順(付近の目印など)
 - (2) 東邦ガス型式名(例) XTH-5825APS-AW
※銘板をご覧ください。(→P.3)
 - (3) 現象
故障または異常内容、アラーム番号などできるだけ詳しく。
 - (4) 訪問ご希望日

保証について

- この取扱説明書の裏表紙が保証書になっています。保証期間・保証内容などをご確認のうえ、大切に保管してください。
- 保証書を紛失されると、保証期間内であっても修理費をいただくことがありますので、大切に保管してください。
- 保証期間経過後の故障修理については、修理により製品の機能が維持できる場合は、ご希望により有料で修理いたします。

補修用性能部品の保有期間について

- この製品の補修用性能部品(機能維持のために必要な部品)の保有期間は製造打切り後10年です。ただし、保有期間経過後であっても補修用性能部品の在庫がある場合は有料で修理いたします。

転居または機器を移設される場合

- 増改築などのため機器を移設される場合、工事には専門の技術が必要となりますので、必ずお買い上げの販売店、またはお近くの東邦ガスにご連絡ください。
- 設置場所の選定にあたっては、運転音や振動が大きく伝わらないような場所をお選びください。また、機器本体の運転音が隣家の迷惑にならないような場所を選ぶなど、ご配慮ください。
- 転居、移設にともなう調整や工事の費用は、保証期間内でも有料となります。

アフターサービスなどについてわからないとき

- お買い上げの販売店、またはお近くの東邦ガスにお問い合わせください。

長期間使用しない場合

- 万一の熱媒漏れを防止するため、熱媒元栓を閉めておいてください。
- お買い上げの販売店、またはお近くの東邦ガスにお問い合わせください。

仕様一覧

〔仕様表〕

項 目		内 容		
東邦ガス型式名		XTH-5825APS-AW	XTH-3425APS-AW	
型 式 名		HNU-332FKD	HNU-202FKD	
外 形 寸 法 (mm)		幅 305 × 奥行 270 × 高さ 680		
質 量 (kg)		33 (満水時: 37)		
種 類	給 湯 方 式	先止め式		
	暖 房 方 式	温水循環方式		
設 置 方 式		屋内設置形 パイプシャフト設置式標準設置形		
水 圧	使用熱媒差圧	0.1 ~ 0.3MPa (1.0~3.0kgf/cm ²)		
	使用水圧	0.1 ~ 0.4MPa (1.0~4.0kgf/cm ²) [推奨水圧: 0.25~0.4MPa (2.5~4.0kgf/cm ²)]		
	最低作動水圧	10kPa (0.1kgf/cm ²)		
最低作動水量	給 湯	1.9L/分		
	暖 房	0L/分以上 (締切り使用可)		
	ふ ろ	3.8L/分		
接 続	熱 媒 入・出	20A (R3/4 オネジ)		
	給 水・給 湯	20A (R3/4 オネジ)		
	暖 房	低 温 往 き	CCHM ジョイント	
		高 温 往 き	CCHM ジョイント	
	戻 り	CCHM ジョイント		
	ふ ろ	CCHM ジョイント		
	オ ー バ ー フ ロ ー	15A (R1/2 オネジ)		
電 源	本体電源 AC100V (50/60Hz)			
気 関 係	リ モ コ ン 側	DC24V以下		
	消費電力	待 機 時	1.9W (浴室・台所リモコン取り付け時)	
		定 格	192W	
リモコンコード	浴室リモコン2心、台所リモコン2心			
安 全 装 置		過圧防止安全装置(スプリング式) 空だき防止装置 (水量センサ・水流スイッチ・水位電極) 漏電安全装置(漏電スイッチ)	誘導雷保護装置(サージアブソーバ) 凍結予防装置(ポンプ運転) 過電流防止装置(電流ヒューズ)	

〔能力表〕

東邦ガス型式名	出湯能力(最大) L/分		能力kW {kcal/h}		
	水温+25℃上昇	水温+40℃上昇	給湯	追いだき	暖房
XTH-5825APS-AW	33.0	20.6	58.1 {50,000}	9.3 {8,000}	23.3 {20,000}
XTH-3425APS-AW	20.0	12.5	34.3 {29,500}	7.9 {6,800}	8.0 {6,900}

◎出湯能力は、水圧0.2MPa {2.0kgf/cm²} のときで、温度を高め設定し、水と混合させることにより可能となる最大流量の計算値をいいます。
◎本仕様は改良のため、お知らせせずに変更することがあります。

保証書

東邦ガス
型式名

XTH-5825APS-AW XTH-3425APS-AW

このたびは、当社製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
この保証書は、東邦ガス供給区域内において、ご使用になる場合に、本証書記載内容で無料修理をお約束するものです。
万一故障いたしましたときは、本書をご提示の上、お買い上げの販売店、またはお近くの東邦ガス営業所に修理をご依頼ください。

記

1.保証期間は、お買い上げ日から2年間とし、本体を対象といたします。なお、下記部品については以下の年数を保証いたします。

熱交換器……3年

2.保証期間内でありましても次の場合には有料修理といたします。

- (1) 取扱説明書等の記載事項によらないでご使用した場合の故障および損傷。
- (2) 一般家庭用以外に使用された場合の故障および損傷。
- (3) 指定規格以外の電気、または熱媒等をご使用したことにより起因する故障および損傷。
- (4) お買い上げ後の取付場所の移動、落下等による故障および損傷。
- (5) 火災、凍結、塩害、地震、風水害、落雷、煤煙、降灰、酸性雨、腐食性等の有毒ガス、ほこり、異常気象、異常電流・電圧・周波数・電磁波、犬・猫・ねずみ・鳥・くも昆虫等の動物の行為、その他天変地異または戦争、暴動等破壊行為による故障および損傷。
- (6) 器具を調整、改造された場合の故障および損傷。(ただし、当社都合の場合は除く。)
- (7) 建築躯体の変形等、当製品以外に起因する故障および損傷。
- (8) 音、振動、塗装の退色、メッキの軽微な傷、錆など設計仕様の範囲内の感覚的な現象の場合。
- (9) 本書のご提示がない場合。
- (10) 本書にお買い上げ日、販売店名・住所の記入捺印のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合。
- (11) 消耗部品の取り替えおよび保守などの費用。
- (12) 電気、給水のトラブル等に起因する故障および損傷。
- (13) 給水・給湯・熱媒配管などの錆び等、異物混入に起因する故障および損傷。
- (14) 温泉水、井戸水、地下水を給水したことに起因する故障および損傷。

お買い上げ日	年	月	日
--------	---	---	---

販売店名・住所
電話 ()

保証履行者 東邦ガス株式会社 〒456-8511 名古屋市熱田区桜田町19番18号
保証責任者 パーパスマーケティングジャパン株式会社 〒417-8505 静岡県富士市西柏原新田201

修理記録

年月日	修理内容	サービス員印

お客さまへ

- 1.この保証書をお受け取りになる時にお買い上げ日、販売店名・住所が記入捺印してあることを確認してください。
- 2.本証書は再発行いたしませんので紛失されないよう大切に保管してください。
- 3.無料修理期間経過後の故障修理などにつきましては取扱説明書をご覧ください。
- 4.この保証書によって、お客さまの法律上の権利を制限するものではありません。
- 5.無料修理やアフターサービス等について、ご不明の場合はお買い上げの販売店、またはお近くの東邦ガス営業所にお問い合わせください。

